

神戸市生活保護医療扶助関連事業実施計画（データヘルス計画）
（令和 2 年度～令和 7 年度）

令和 2 年 3 月
神戸市保健福祉局保護課

目次

1. 基本的事項	1
(1) 計画の趣旨	1
(2) 検討の経緯	2
(3) 計画期間および事業の実施	2
(4) 集計対象	2
2. 神戸市生活保護の状況	3
(1) 被保護者世帯数及び人員の推移	3
(2) 世帯人員別世帯数の推移	4
(3) 世帯類型（構成比）の推移	5
(4) 年齢別被保護人員の推移	6
3. 医療費・疾病の状況	7
(1) 生活保護の医療費等の推移	7
(2) レセプト1件あたり医療費の推移	8
(3) 制度別の1人あたり医療費	9
(4) 疾病別の医療費（疾病大分類）	10
(5) 疾病別の医療費（疾病中分類）	11
(6) 疾病別の医療費（疾病中分類：主病名のみ集計）	13
(7) 生活習慣病の医療費	14
(8) 年代別にみた生活習慣病等の医療費	15
(9) 被保護者の医療機関受診状況	18
(10) 糖尿病の重症度別の医療費及び患者数の状況	19
(11) 人工透析・糖尿病合併症の状況	20
(12) 歯科レセプトと糖尿病の関連状況	21
(13) 悪性新生物による医療機関受診率	22
(14) 悪性新生物の治療開始時期	23
(15) 糖尿病と癌の関係（平成30年度）	23
(16) 更生医療の医療費推移	24
(17) 入院外の1か月間における受診日数および医療機関数	25
(18) 疾病別受診日数の状況	25
(19) 複数医療機関の受診状況	26
(20) 重複処方状況	27
(21) ジェネリック医薬品の使用状況	28
(22) 入院レセプトの状況	29
4. 健康診査の状況	31
(1) 健康診査の受診状況	31
(2) 有所見者の割合	32
(3) 肥満・非肥満におけるリスク保有状況	32
(4) 慢性腎臓病（CKD）リスク者の状況	33
5. 神戸市生活保護の健康管理支援における現状・課題と対応	34

6. 事業の実施計画.....	35
(1) 健診受診勧奨	35
(2) 医療機関受診勧奨	36
(3) 生活習慣病重症化予防	37
(4) その他の取り組み	39
7. データヘルス計画の推進.....	40
(1) 評価方法	40
(2) 計画の見直し	40
(3) 計画の公表・周知.....	40
(4) 個人情報の保護.....	40

1. 基本的事項

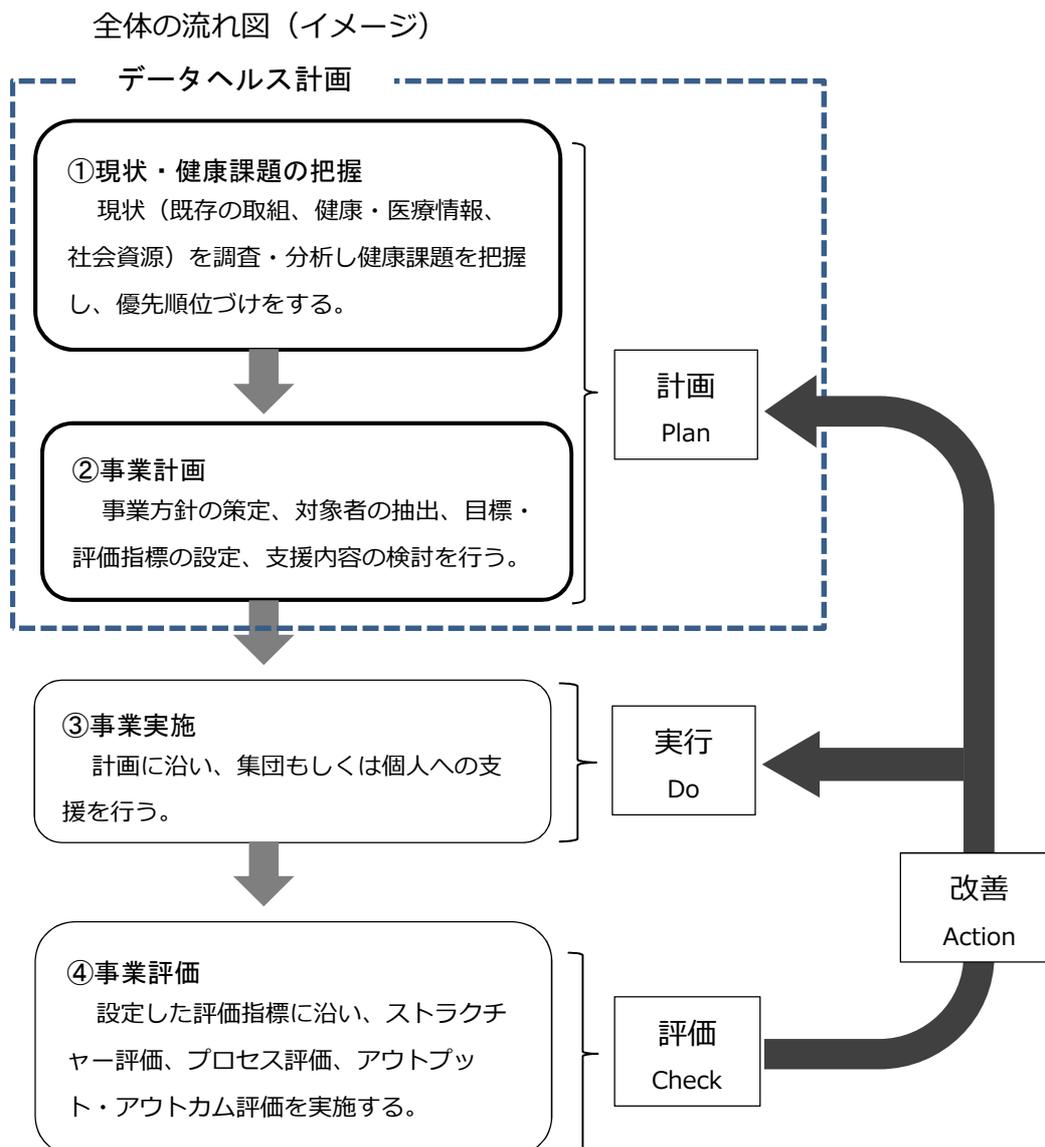
(1) 計画の趣旨

神戸市生活保護医療扶助関連事業実施計画（データヘルス計画）は、福祉事務所が生活保護受給者のために、生活習慣病の発症予防・重症化予防対策を中心に、きめ細かな健康管理支援等が実施できるよう体制を構築し、医療データ分析による課題抽出とその解決に向けた事業を計画・実施することで生活保護受給者の自立と医療扶助適正化を目指すものである。

データに基づいた生活習慣病の予防・重症化予防の推進

- ・生活習慣病の予備群と治療中の者に対するデータに基づく健康管理支援の実施
- ・データヘルス実施のためのインフラの整備、健康・医療データ分析の仕組みの構築

図表1 データヘルス計画におけるPDCAサイクル



出典 厚生労働省「被保護者健康管理支援事業の手引き」より作表

(2) 検討の経緯

被保護者健康管理支援に係るワーキンググループによる検討

令和元年 5月30日	第1回	検討会の進め方・方向性の決定
9月30日	第2回	レセプト集計結果の提示、検討
11月25日	第3回	事業実施計画の検討
令和2年 1月29日	第4回	最終案のとりまとめ

(3) 計画期間および事業の実施

データヘルス計画の計画期間は、令和2年度から令和7年度までの6年間とする。

令和元年度 計画策定（現状分析、課題の整理、事業計画および実施目標の設定）
2年度～ 事業実施
4年度 中間評価
7年度 事業の達成状況の評価、次期計画の策定

(4) 集計対象

過去の推移の分析が必要なものについては5年分のレセプト、直近の状況の把握が必要なものについては、平成30年度のレセプトを集計対象としている。

①集計期間（5年分）

平成26年6月審査～令和元年5月審査までの5年分を診療年月単位で集計

②集計期間（単年度）

平成30年6月診療分～令和元年5月診療分を集計対象としている。また、国保も同様の期間を集計して比較している。

③医療費の集計

疾病別医療費は各レセプトの主たる疾病に集約して計上。そのため、疾病別医療費において重複計上は発生しない。また、社会保険など他公費負担のある者についても、患者の負担割合に関わらず、レセプトの総点数を集計対象としている。

④集計対象の疾病

医療費以外の集計（患者数等）については、特に記載のない限りレセプト内の全疾病（疑い病名を除く）について集計としている。

⑤自立支援医療

疾病大分類や疾病中分類などでは、被保護者の全体の疾病傾向を見るため、医療扶助の支給はしていないが、自立支援医療のレセプトを集計対象に入れている。

(5) 本計画における用語の定義

医療扶助：生活保護単独および社会保険併用による医療扶助

国保：神戸市国民健康保険

自立支援医療：更生医療、精神通院医療レセプト（本計画では主に生活習慣病に関する集計を行うため、育成医療については集計対象外としている。）

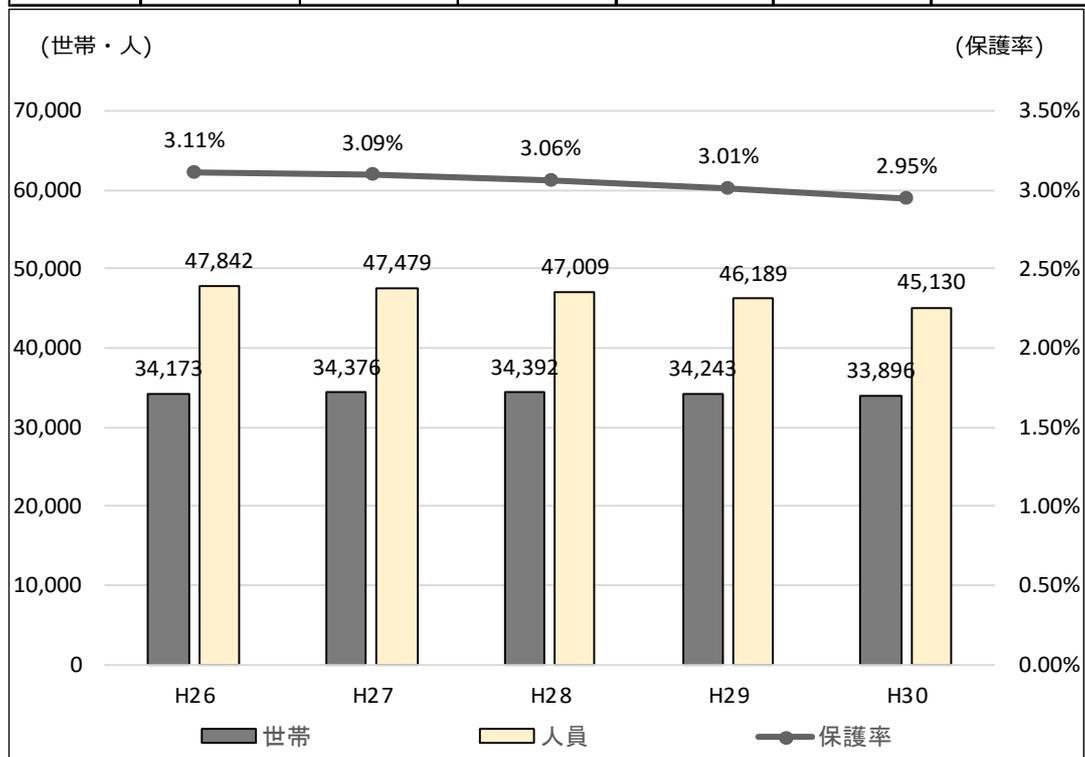
2. 神戸市生活保護の状況

(1) 被保護者世帯数及び人員の推移

神戸市の平成 30 年の生活保護被保護世帯は 33,896 世帯、人員は 45,130 人であり、保護率は 2.95%となっている。被保護世帯、人員、保護率ともに平成 28 年以降、減少傾向にある。

図表 2 被保護者世帯数及び人員の推移

		H26	H27	H28	H29	H30
総人口	世帯	694,954	699,873	710,336	714,794	718,274
	前年比	100.7%	100.7%	101.5%	102.1%	101.1%
	人口	1,538,267	1,535,947	1,537,257	1,533,321	1,528,458
	前年比	99.8%	99.8%	100.1%	99.8%	99.4%
被保護 実数	世帯	34,173	34,376	34,392	34,243	33,896
	前年比	100.3%	100.6%	100.0%	99.6%	98.6%
	人員	47,842	47,479	47,009	46,189	45,130
	前年比	99.1%	99.2%	99.0%	97.3%	96.0%
	保護率	3.11%	3.09%	3.06%	3.01%	2.95%



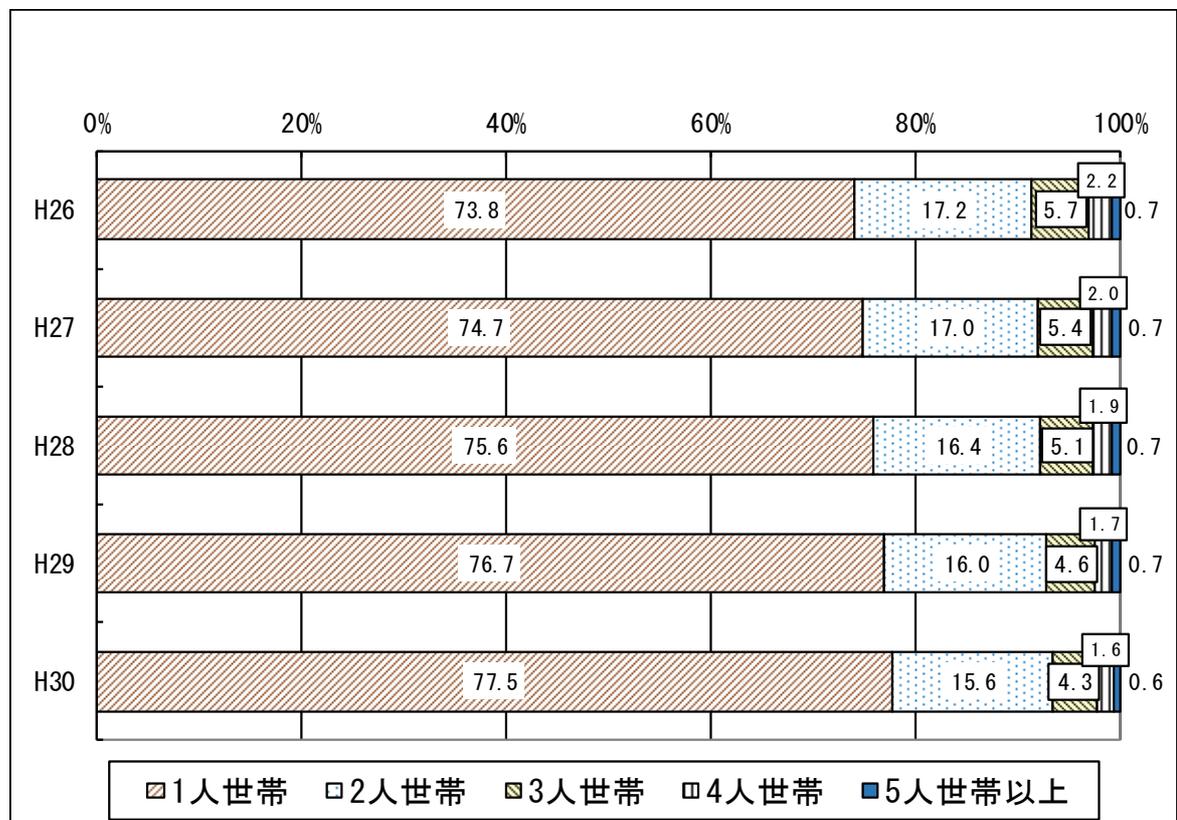
出典：神戸市における保護動向分析（平成 30 年）

(2) 世帯人員別世帯数の推移

平成30年の世帯人員別世帯数では、1人世帯が全体の77.5%を占めている。1人世帯割合は年々上昇している。

図表3 世帯人員別世帯数の推移

	世帯人員(人)							
	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	計
H26	25,216	5,894	1,940	758	246	87	32	34,173
H27	25,667	5,838	1,851	675	233	76	36	34,376
H28	26,009	5,646	1,749	641	236	75	36	34,392
H29	26,253	5,470	1,590	594	225	75	36	34,243
H30	26,282	5,304	1,459	546	207	67	31	33,896



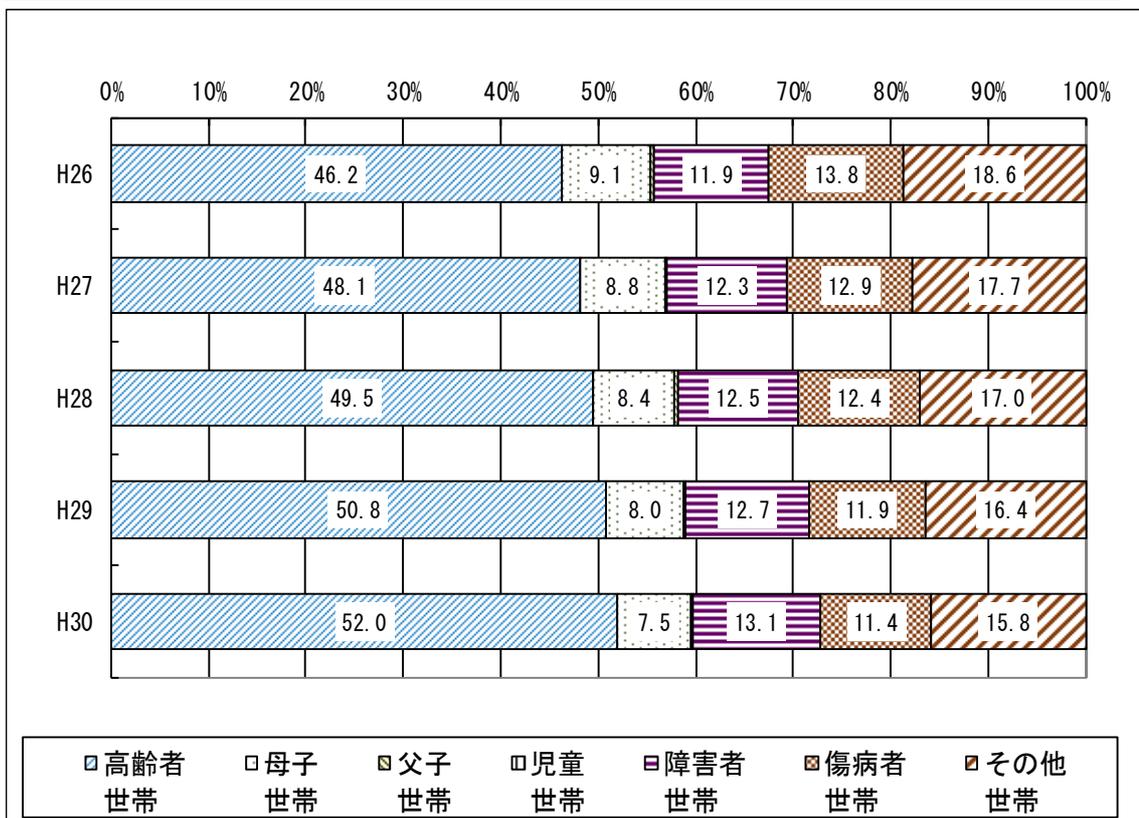
出典：神戸市における保護動向分析（平成30年）

(3) 世帯類型（構成比）の推移

平成 30 年の世帯類型（構成比）は、高齢者世帯が 52.0%と全体の過半数を占める。高齢者世帯は平成 26 年の 46.2%から 4 年間で+5.8 ポイントと大幅な増加がみられる。その他の世帯類型では、障害者世帯の割合が増加傾向にある一方で、母子世帯、傷病者世帯は減少傾向にある。

図表 4 世帯類型(構成比)の推移

	世帯類型(構成比)						
	高齢者世帯	母子世帯	父子世帯	児童世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他世帯
H26	46.2	9.1	0.3	0.0	11.9	13.8	18.6
H27	48.1	8.8	0.2	0.0	12.3	12.9	17.7
H28	49.5	8.4	0.2	0.0	12.5	12.4	17.0
H29	50.8	8.0	0.2	0.0	12.7	11.9	16.4
H30	52.0	7.5	0.2	0.0	13.1	11.4	15.8



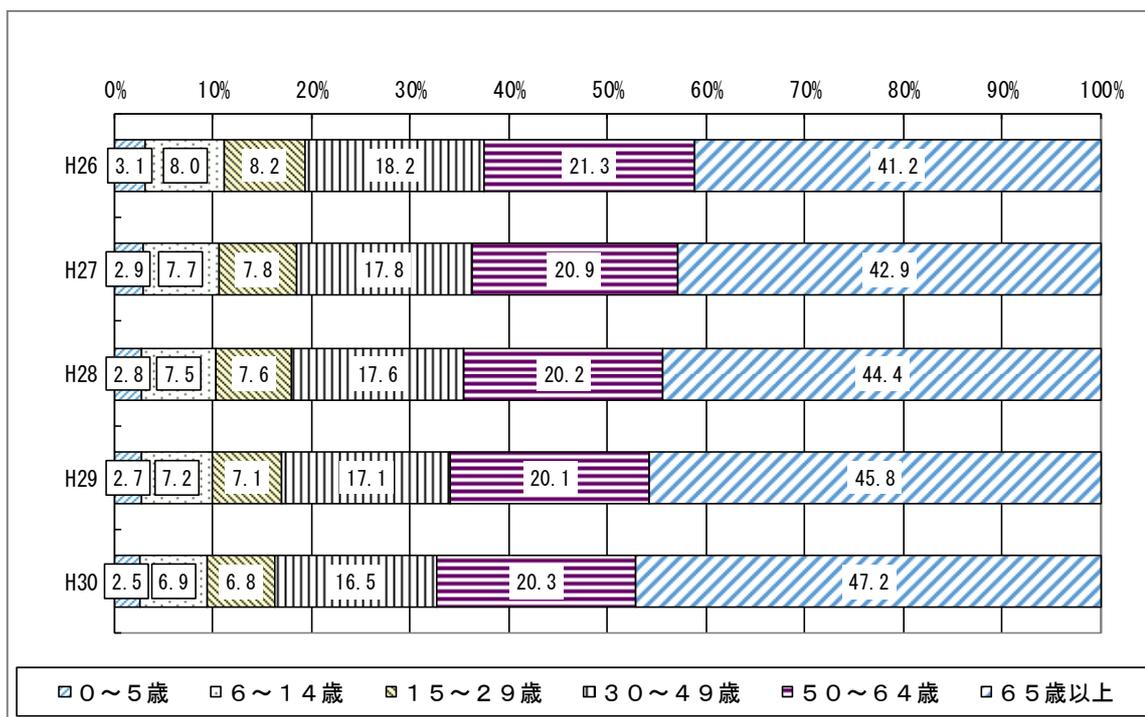
出典：神戸市における保護動向分析（平成 30 年）

(4) 年齢別被保護人員の推移

平成 30 年の年齢別被保護人員は、65 歳以上が 47.2%と全体の半数近くを占める。65 歳以上の層は平成 26 年の 41.2%から 4 年間で+6.0 ポイントと大幅な増加がみられる。その他の年代は相対的に減少傾向にある。

図表 5 年齢別被保護人員構成比の推移

	年齢別 (人)						計
	0～5歳	6～14歳	15～29歳	30～49歳	50～64歳	65歳以上	
H26	1,480	3,837	3,929	8,729	10,185	19,682	47,842
H27	1,390	3,645	3,714	8,458	9,919	20,353	47,479
H28	1,306	3,548	3,550	8,251	9,500	20,854	47,009
H29	1,259	3,315	3,290	7,894	9,271	21,160	46,189
H30	1,106	3,092	3,057	7,447	9,142	21,286	45,130



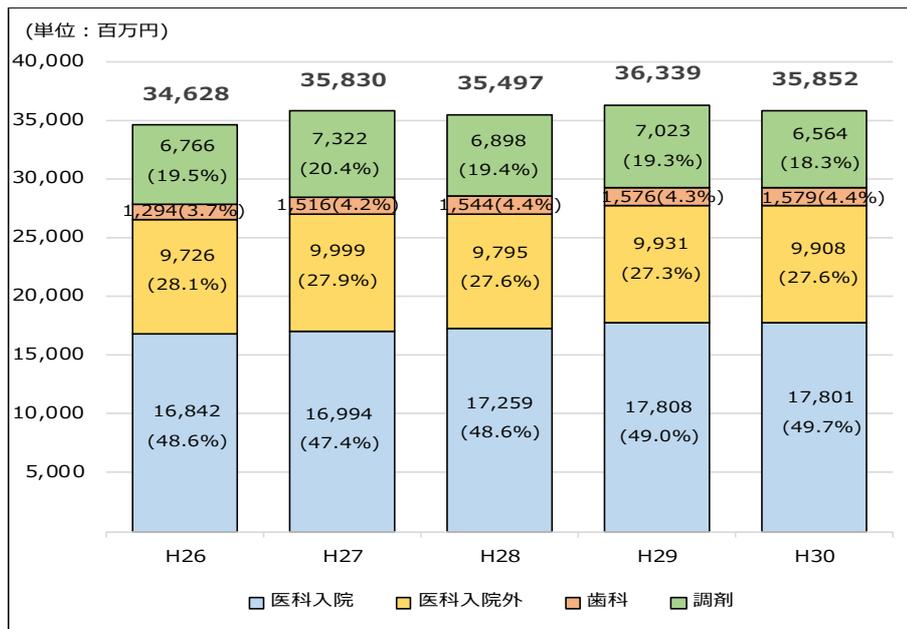
出典：神戸市における保護動向分析（平成 30 年）

3. 医療費・疾病の状況

(1) 生活保護の医療費等の推移

医療費は年間 350 億円前後で推移している。その内訳としては医科入院が最も多く、次いで医科入院外となっている。全体に占める割合の推移をみると、医科入院の占める割合が増加傾向にある。

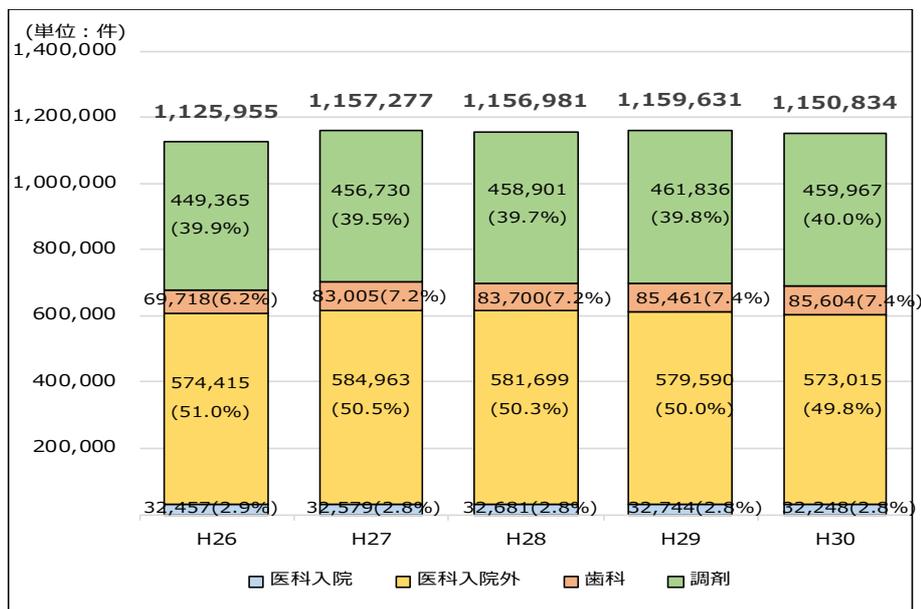
図表6 医療費の推移



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

レセプト件数は年間 110 万件前後で推移しており、その内訳としては医科入院外が最も多く、次いで調剤となっている。なお、全体に占める割合の推移に大きな変動はない。

図表7 レセプト件数の推移

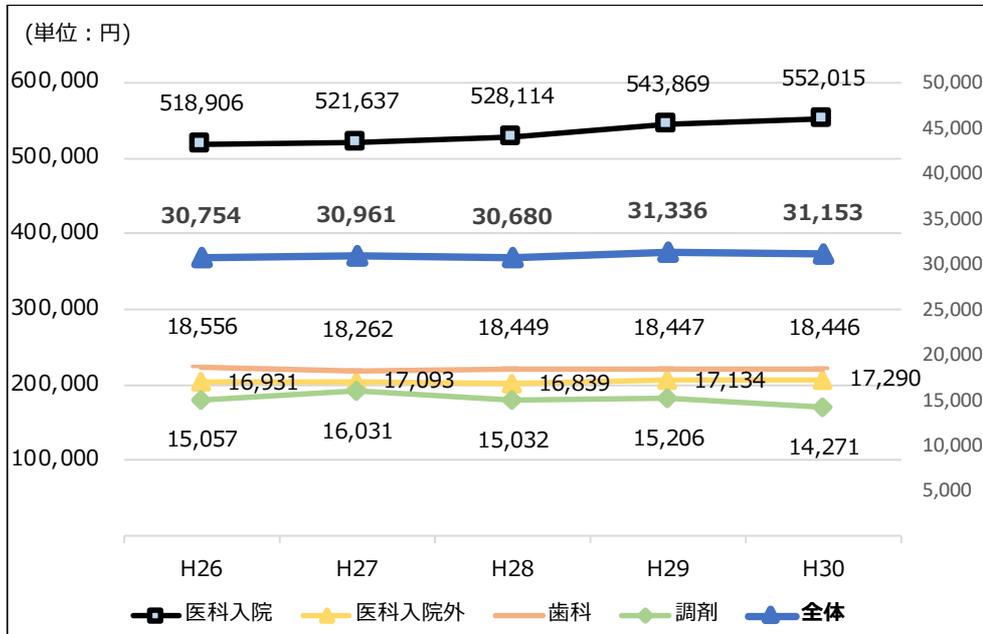


集計対象：レセプトデータ（生活保護）

(2) レセプト1件あたり医療費の推移

医療費をレセプト1件あたりで見ると、全体の平均が31,000円前後を推移しているが、特に医科入院は552,000円と、直近3年で5%近く増えるなど伸びが見られる。

図表8 レセプト1件あたり医療費の推移



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

(3) 制度別の1人あたり医療費

生活保護（他公費等含む）、国民健康保険、後期高齢者医療の1人あたり医療費を比較すると、生活保護(75歳未満)は国民健康保険の約1.9倍であった。また、75歳以上の年代においても、生活保護は後期高齢者医療を上回る結果となっている。

図表9 年代別の1人あたり医療費（制度別）（平成30年度）

	年齢層	医療扶助	国保 (神戸市)	後期 (神戸：H28)
75歳未満	0歳～	244,902	207,858	－
	5歳～	115,438	101,424	－
	10歳～	98,554	96,397	－
	15歳～	87,937	67,427	－
	20歳～	138,451	65,694	－
	25歳～	292,889	97,901	－
	30歳～	337,061	151,906	－
	35歳～	398,216	162,864	－
	40歳～	475,128	195,927	－
	45歳～	562,111	237,737	－
	50歳～	699,869	296,208	－
	55歳～	839,392	358,351	－
	60歳～	874,514	388,169	－
	65歳～	957,080	426,108	－
70歳～	966,909	508,604	－	
	75歳未満平均	630,499	325,922	－
75歳以上	75歳～	1,169,912	－	1,028,362

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

レセプトデータ（国保）

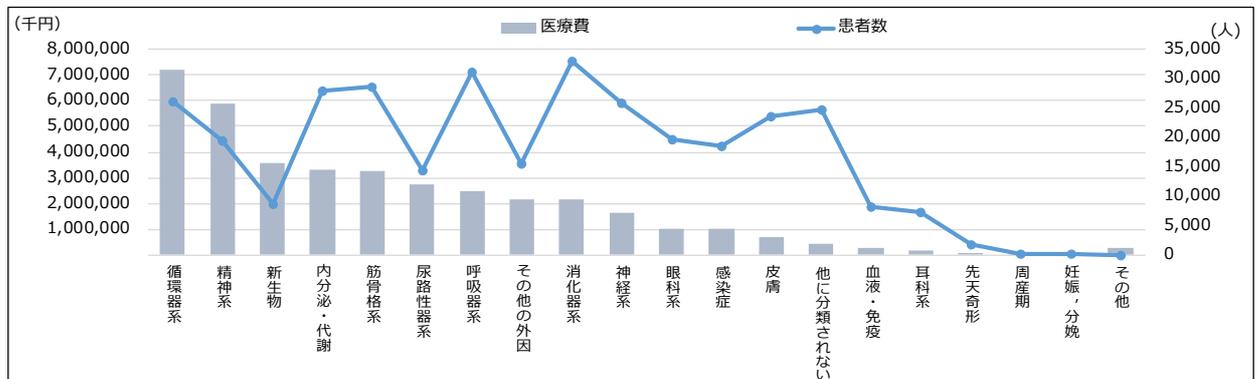
出典：兵庫県後期高齢者医療広域連合 第2期データヘルス計画（後期）

(4) 疾病別の医療費（疾病大分類）

生活保護（他公費等含む）の疾病大分類別でみた医療費は、循環器系の疾患、精神及び行動の障害、新生物の順に高額であった。

図表 10 疾病大分類別医療費等（平成 30 年度）

大分類名	大分類名 略称	医療費(千円)	患者数(人)	有病率
1 循環器系の疾患	循環器系	7,214,580	26,183	56.9%
2 精神及び行動の障害	精神系	5,903,535	19,554	42.5%
3 新生物	新生物	3,584,483	8,614	18.7%
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	内分泌・代謝	3,318,784	27,932	60.7%
5 筋骨格系及び結合組織の疾患	筋骨格系	3,280,451	28,697	62.4%
6 腎尿路生殖器系の疾患	尿路生殖器系	2,769,536	14,460	31.4%
7 呼吸器系の疾患	呼吸器系	2,470,291	31,178	67.8%
8 損傷、中毒及びその他の外因の影響	その他の外因	2,173,740	15,657	34.0%
9 消化器系の疾患	消化器系	2,153,214	33,092	71.9%
10 神経系の疾患	神経系	1,652,277	25,892	56.3%
11 眼及び付属器の疾患	眼科系	1,031,787	19,572	42.5%
12 感染症及び寄生虫症	感染症	996,545	18,523	40.3%
13 皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚	716,894	23,643	51.4%
14 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	他に分類されない	423,993	24,683	53.7%
15 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	血液・免疫	265,924	8,166	17.8%
16 耳及び乳様突起の疾患	耳科系	175,411	7,418	16.1%
17 先天奇形、変形及び染色体異常	先天奇形	74,050	1,805	3.9%
18 周産期に発生した病態	周産期	52,473	176	0.4%
19 妊娠、分娩及び産じょく	妊娠、分娩	21,405	251	0.5%
その他・未分類	その他	259,296	-	



※ 1 医療費は各レセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。

※ 2 患者数はレセプトに記載の病名をすべて集計対象としているため、各疾病の患者数の合計は、全体の患者数と一致しない。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(5) 疾病別の医療費（疾病中分類）

疾病中分類では、「統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害」「高血圧性疾患」「糖尿病」の順に医療費が高額であった。

入院・入院外別でみると、入院では「統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害」「骨折」「その他の心疾患」の順で高額となる一方で、入院外では「高血圧性疾患」「糖尿病」「腎不全」の順であった。

図表 11 疾病中分類別医療費等（入院+入院外）（平成 30 年度）

順位	中分類名	医療扶助費(千円)	患者数(人)
1	0503 統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	2,816,722	6,311
2	0901 高血圧性疾患	2,387,584	21,080
3	0402 糖尿病	2,299,310	13,696
4	1402 腎不全	2,148,439	2,860
5	0903 その他の心疾患	1,502,187	12,720
6	1901 骨折	1,396,681	4,416
7	0906 脳梗塞	1,197,624	5,477
8	0210 その他の悪性新生物	1,097,451	2,339
9	0504 気分【感情】障害（躁うつ病を含む）	1,088,618	9,425
10	1303 脊椎障害（脊椎症を含む）	1,024,785	11,861
11	0403 その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	891,951	24,987
12	1112 その他の消化器系の疾患	875,563	27,716
13	0902 虚血性心疾患	866,045	7,043
14	0606 その他の神経系の疾患	658,679	24,057
15	1302 関節症	633,552	10,454
16	1011 その他の呼吸器系の疾患	630,755	9,342
17	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	595,370	1,892
18	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	568,936	13,056
19	0105 ウイルス肝炎	560,466	2,696
20	1010 喘息	555,643	10,086

※ 1 医療費はレセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。

※ 2 患者数はレセプトに記載の病名をすべて集計対象としているため、各疾病の患者数の合計は、全体の患者数と一致しない。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

図表 12 疾病中分類別医療費等（入院）（平成 30 年度）

順位	中分類名	医療扶助費(千円)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,172,568	1,619
2	1901 骨折	1,236,501	1,232
3	0903 その他の心疾患	1,059,547	2,961
4	0906 脳梗塞	903,648	1,478
5	0210 その他の悪性新生物	632,102	891
6	0402 糖尿病	559,920	2,887
7	0902 虚血性心疾患	533,943	1,604
8	1011 その他の呼吸器系の疾患	511,300	2,061
9	1112 その他の消化器系の疾患	507,787	6,075
10	1402 腎不全	450,181	1,103
11	1303 脊椎障害（脊椎症を含む）	411,300	1,170
12	0905 脳内出血	410,631	248
13	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	385,980	412
14	0602 アルツハイマー病	385,528	579
15	1004 肺炎	374,454	1,244
16	0501 血管性及び詳細不明の認知症	364,352	710
17	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	338,393	1,919
18	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	319,319	1,772
19	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物	301,910	281
20	0504 気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	299,333	1,357

※ 1 医療費はレセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。

※ 2 患者数はレセプトに記載の病名をすべて集計対象としているため、各疾病の患者数の合計は、全体の患者数と一致しない。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

図表 13 疾病中分類別医療費等（入院外）（平成 30 年度）

順位	中分類名	医療扶助費(千円)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	2,136,124	20,435
2	0402 糖尿病	1,739,390	13,264
3	1402 腎不全	1,698,258	2,518
4	0504 気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	789,285	8,941
5	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	654,438	23,957
6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	644,153	5,530
7	1303 脊椎障害（脊椎症を含む）	613,485	11,576
8	1010 喘息	484,723	9,900
9	0105 ウイルス肝炎	476,251	2,548
10	0210 その他の悪性新生物	465,350	2,158
11	0903 その他の心疾患	442,640	11,901
12	0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	426,976	9,386
13	0606 その他の神経系の疾患	386,228	23,093
14	0703 屈折及び調節の障害	370,958	14,457
15	1112 その他の消化器系の疾患	367,776	26,461
16	1302 関節症	363,799	10,291
17	1105 胃炎及び十二指腸炎	341,048	17,901
18	0902 虚血性心疾患	332,102	6,713
19	1301 炎症性多発性関節障害	299,619	4,808
20	0906 脳梗塞	293,976	4,977

※ 1 医療費はレセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。

※ 2 患者数はレセプトに記載の病名をすべて集計対象としているため、各疾病の患者数の合計は、全体の患者数と一致しない。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(6) 疾病別の医療費（疾病中分類：主病名のみ集計）

疾病中分類で、主病名のみを集計し、国保医療費と比較をしたところ、ほとんどの疾患で、生活保護の方が1人あたりの医療費、有病率が高かった。特に1人あたりの医療費は「糖尿病」「高血圧」などの生活習慣病で国保医療費の2倍を占めていた。

入院で最も多かった一人あたり医療費は、「脳内出血」、次いで「統合失調症、統合失調症型障害など」「アルツハイマー病」「血管性及び詳細不明の認知症」「脳梗塞」の順であった。

入院外の1人あたり医療費では「腎不全」が最も高額を占めていた。

図表 14 疾病中分類（主病名のみ集計）医療費（入院+入院外）（平成30年度）

順位	中分類名	医療費(千円)	患者数(人)	患者一人当たり(円)	医療費(千円)	患者数(人)	患者一人当たり(円)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,524,593	2,807	899,392	4,976,050	5,325	934,469
2	1402 腎不全	1,956,802	752	2,602,130	3,916,947	1,771	2,211,715
3	0402 糖尿病	1,601,050	4,869	328,825	3,401,597	21,211	160,369
4	0901 高血圧性疾患	1,479,892	8,200	180,475	4,128,835	51,974	79,440
5	1901 骨折	1,351,624	2,185	618,592	2,318,218	8,059	287,656
6	0903 その他の心疾患	1,306,387	2,352	555,436	3,020,368	9,319	324,109
7	0906 脳梗塞	1,080,930	2,079	519,928	1,658,285	6,522	254,260
8	0210 その他の悪性新生物	996,447	1,598	623,559	5,713,360	10,554	541,345
9	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	795,257	4,324	183,917	1,741,918	17,090	101,926
10	1112 その他の消化器系の疾患	723,757	3,840	188,478	2,609,834	24,875	104,918
11	0902 虚血性心疾患	703,267	1,694	415,152	2,075,073	6,820	304,263
12	0403 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	616,677	3,947	156,239	2,324,344	31,329	74,191
13	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	614,353	4,136	148,538	1,247,277	8,478	147,119
14	1011 その他の呼吸器系の疾患	593,558	3,005	197,523	1,294,369	19,800	65,372
15	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	530,709	1,003	529,122	446,992	1,154	387,341
16	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	526,960	4,785	110,128	1,730,150	27,827	62,175
17	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物	509,050	640	795,391	2,445,264	3,228	757,517
18	1302 関節症	506,678	2,923	173,342	2,154,706	17,327	124,355
19	0602 アルツハイマー病	481,876	698	690,366	299,046	789	379,019
20	0606 その他の神経系の疾患	480,191	2,579	186,193	2,020,285	12,743	158,541

※当該疾病が主病名となっているレセプトのみ集計

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

レセプトデータ（国保）

図表 15 疾病中分類（主病名のみ集計）医療費等（入院）（平成30年度）

順位	中分類名	【生保】 H30:45,130人				【国保】 H30:323,472人			
		医療費(千円)	患者数(人)	患者一人当たり(円)	有病率	医療費(千円)	患者数(人)	患者一人当たり(円)	有病率
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,171,598	707	3,071,567	1.6%	4,362,646	1,250	3,490,117	0.4%
2	1901 骨折	1,234,450	761	1,622,142	1.7%	1,937,657	1,604	1,208,016	0.5%
3	0903 その他の心疾患	1,055,729	606	1,742,126	1.3%	2,395,458	1,252	1,913,305	0.4%
4	0906 脳梗塞	903,168	389	2,321,770	0.9%	1,382,960	725	1,907,530	0.2%
5	0210 その他の悪性新生物	629,770	480	1,312,020	1.1%	3,424,924	2,318	1,477,534	0.7%
6	0402 糖尿病	555,964	511	1,087,992	1.1%	754,171	843	894,628	0.3%
7	0902 虚血性心疾患	530,215	432	1,227,350	1.0%	1,618,779	1,403	1,153,798	0.4%
8	1011 その他の呼吸器系の疾患	509,474	485	1,050,461	1.1%	793,515	885	896,627	0.3%
9	1112 その他の消化器系の疾患	503,885	789	638,637	1.7%	1,493,141	3,050	489,554	0.9%
10	1402 腎不全	445,455	293	1,520,324	0.6%	571,256	432	1,322,351	0.1%
11	0905 脳内出血	410,552	132	3,110,241	0.3%	923,471	318	2,903,997	0.1%
12	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	410,520	255	1,609,882	0.6%	996,115	593	1,679,790	0.2%
13	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	385,895	225	1,715,087	0.5%	329,610	228	1,445,656	0.1%
14	0602 アルツハイマー病	385,396	135	2,854,785	0.3%	223,809	87	2,572,520	0.0%
15	1004 肺炎	372,792	473	788,143	1.0%	497,732	766	649,781	0.2%
16	0501 血管性及び詳細不明の認知症	364,266	142	2,565,257	0.3%	192,074	76	2,527,296	0.0%
17	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	337,388	365	924,350	0.8%	949,960	1,024	927,696	0.3%
18	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	318,412	230	1,384,398	0.5%	759,747	569	1,335,232	0.2%
19	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物	300,267	203	1,479,150	0.4%	1,252,445	712	1,759,052	0.2%
20	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	298,866	190	1,572,980	0.4%	734,404	335	2,192,251	0.1%

※当該疾病が主病名となっているレセプトのみ集計

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

レセプトデータ（国保）

図表 16 疾病中分類（主病名のみ集計）医療費等（入院外）（平成 30 年度）

順位	中分類名	【生保】 H30:45,130人				【国保】 H30:323,472人			
		医療費(千円)	患者数(人)	患者一人 当たり(円)	有病率	医療費(千円)	患者数(人)	患者一人 当たり(円)	有病率
1	1402 腎不全	1,511,347	626	2,414,292	1.4%	3,345,691	1,618	2,067,794	0.5%
2	0901 高血圧性疾患	1,229,685	8,149	150,900	18.1%	3,967,475	51,918	76,418	16.1%
3	0402 糖尿病	1,045,085	4,729	220,995	10.5%	2,647,425	21,043	125,810	6.5%
4	1303 脊椎障害（脊椎症を含む）	384,737	4,233	90,890	9.4%	745,803	16,938	44,031	5.2%
5	0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	380,125	3,692	102,959	8.2%	1,973,565	31,023	63,616	9.6%
6	0210 その他の悪性新生物	366,678	1,438	254,991	3.2%	2,288,436	9,957	229,832	3.1%
7	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	352,995	2,416	146,107	5.4%	613,404	4,526	135,529	1.4%
8	0504 気分【感情】障害（躁うつ病を含む）	315,487	4,061	77,687	9.0%	512,873	8,374	61,246	2.6%
9	0703 屈折及び調節の障害	278,466	6,918	40,252	15.3%	1,348,306	50,324	26,793	15.6%
10	1010 喘息	268,625	3,047	88,160	6.8%	588,012	16,670	35,274	5.2%
11	0903 その他の心疾患	250,658	2,034	123,234	4.5%	624,910	8,832	70,755	2.7%
12	0105 ウイルス肝炎	241,868	1,052	229,913	2.3%	526,929	4,040	130,428	1.2%
13	1302 関節症	237,255	2,890	82,095	6.4%	825,467	17,252	47,848	5.3%
14	1112 その他の消化器系の疾患	219,872	3,396	64,744	7.5%	1,116,693	23,592	47,334	7.3%
15	0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	212,999	3,100	68,709	6.9%	362,189	9,046	40,039	2.8%
16	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物	208,783	590	353,869	1.3%	1,192,819	3,109	383,666	1.0%
17	0606 その他の神経系の疾患	208,472	2,464	84,607	5.5%	738,335	12,344	59,813	3.8%
18	1105 胃炎及び十二指腸炎	208,306	2,489	83,691	5.5%	672,136	17,311	38,827	5.4%
19	0704 その他の眼及び付属器の疾患	194,835	4,183	46,578	9.3%	1,054,709	30,521	34,557	9.4%
20	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	189,572	4,558	41,591	10.1%	780,190	27,455	28,417	8.5%

※当該疾病が主病名となっているレセプトのみ集計

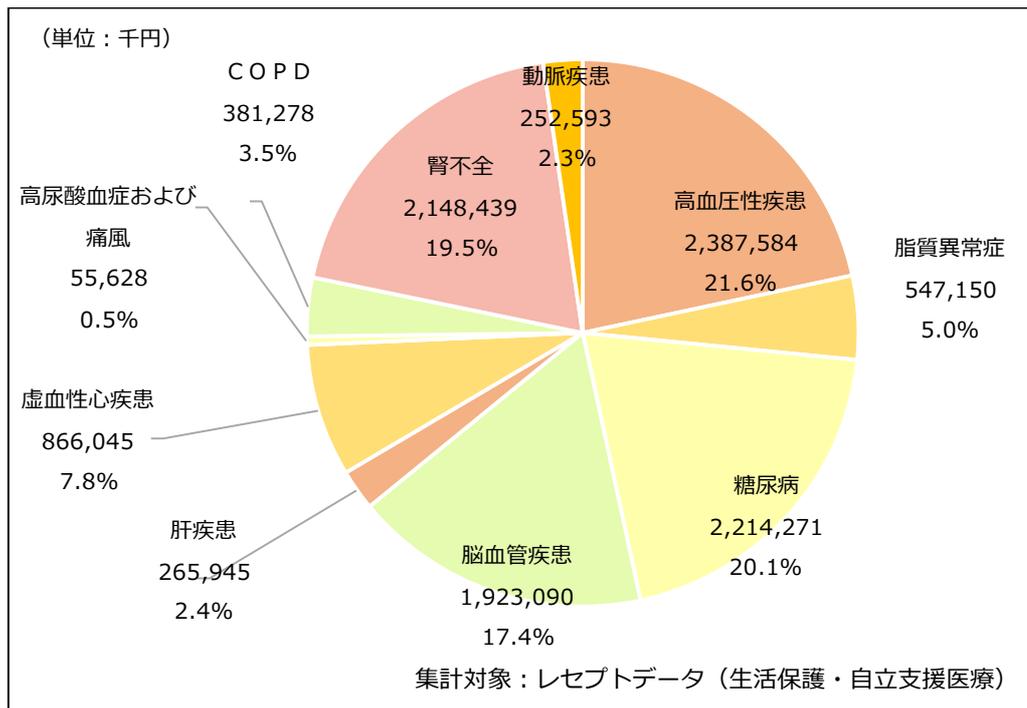
集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

レセプトデータ（国保）

（7）生活習慣病の医療費

生活習慣病の医療費は「高血圧性疾患」「糖尿病」「腎不全」の順に多く、次いで「脳血管疾患」「虚血性心疾患」となっている。上位3疾患で生活習慣病全体の6割以上を占める。

図表 17 生活習慣病の医療費内訳（平成 30 年度）



(8) 年代別にみた生活習慣病等の医療費

年代別で疾病別に1人あたりの医療費を国保医療費と比較したところ、生活保護の方が全体的に高かった。

ただし、この集計は生活習慣病を主病としているレセプトで行っており、当該疾病にかかる医療費だけを集計したものではなく、①主病名以外に他疾病にも複数罹患、②重症化しているなど様々な要因が考えられ、単純には比較できない。

図表 18 主病名が生活習慣病のレセプト (平成 30 年度)

生活保護

年代	高血圧性疾患	糖尿病	脂質異常症	脳血管疾患	虚血性心疾患	動脈疾患	肝疾患	腎不全	COPD
	一人当たり 医療費 (主)								
0歳～	0	0	0	0	0	0	14,590	0	0
5歳～	0	9,847	0	24,960	0	0	14,360	0	0
10歳～	0	373,716	16,767	32,762	13,330	9,380	19,658	0	0
15歳～	8,090	289,286	16,820	325,711	5,770	0	26,599	0	0
20歳～	63,377	62,077	86,238	23,850	28,613	0	38,832	0	0
25歳～	66,110	148,637	72,423	30,500	111,008	2,142,340	99,288	0	0
30歳～	92,774	244,729	307,273	68,315	34,787	0	50,047	3,782,461	13,470
35歳～	132,191	243,589	117,944	257,320	160,729	3,251,421	268,690	2,023,963	69,803
40歳～	174,257	387,252	133,754	261,369	474,357	666,665	359,374	3,614,222	67,818
45歳～	188,064	371,274	170,203	571,180	380,224	248,682	380,273	3,445,802	118,112
50歳～	240,543	406,452	194,164	435,012	465,089	1,003,304	330,618	3,644,024	162,244
55歳～	226,169	473,553	257,898	422,566	431,007	535,951	333,392	3,502,370	237,226
60歳～	251,295	469,001	215,064	620,798	530,820	271,490	536,806	2,873,016	594,011
65歳～	277,044	489,101	258,204	656,485	529,606	754,741	363,231	3,110,640	604,479
70歳～	282,823	455,913	273,298	571,237	548,246	1,193,650	318,767	2,816,916	771,505
75歳未満	257,722	440,549	228,416	546,176	490,898	794,864	343,865	3,131,696	564,469
75歳～	329,688	512,758	268,542	676,305	540,773	776,188	384,438	2,334,027	703,742

国保

年代	高血圧性疾患	糖尿病	脂質異常症	脳血管疾患	虚血性心疾患	動脈疾患	肝疾患	腎不全	COPD
	一人当たり 医療費 (主)								
0歳～	0	39,958	0	3,168,673	36,260	0	21,460	0	0
5歳～	0	43,702	0	62,545	12,552	0	24,294	0	8,840
10歳～	2,820	82,805	21,640	51,176	0	0	47,981	11,395,420	12,980
15歳～	5,023	60,818	50,721	55,445	13,662	25,020	20,275	0	170,130
20歳～	60,667	42,897	28,001	429,450	18,979	17,345	19,473	14,112	10,390
25歳～	62,570	131,756	30,427	435,489	26,671	14,978	21,998	1,811,949	16,120
30歳～	124,081	116,916	59,869	238,871	64,268	72,172	28,454	1,484,517	16,180
35歳～	75,264	136,276	66,338	305,105	60,032	29,455	47,577	3,276,727	15,263
40歳～	96,756	179,888	74,147	458,470	142,937	399,849	83,835	2,597,782	97,969
45歳～	110,261	215,281	81,187	675,239	247,402	645,593	125,494	2,948,441	43,858
50歳～	124,119	240,791	80,838	585,461	323,440	1,228,418	124,869	3,248,977	328,669
55歳～	112,448	279,900	90,076	481,677	436,974	400,362	147,920	3,251,031	96,088
60歳～	121,662	246,755	102,489	454,521	364,075	598,669	141,976	3,071,170	128,356
65歳～	134,616	249,124	111,538	340,841	365,340	530,033	140,831	2,536,499	193,828
70歳～	146,220	252,389	126,480	330,601	387,277	535,847	129,642	1,487,920	280,349

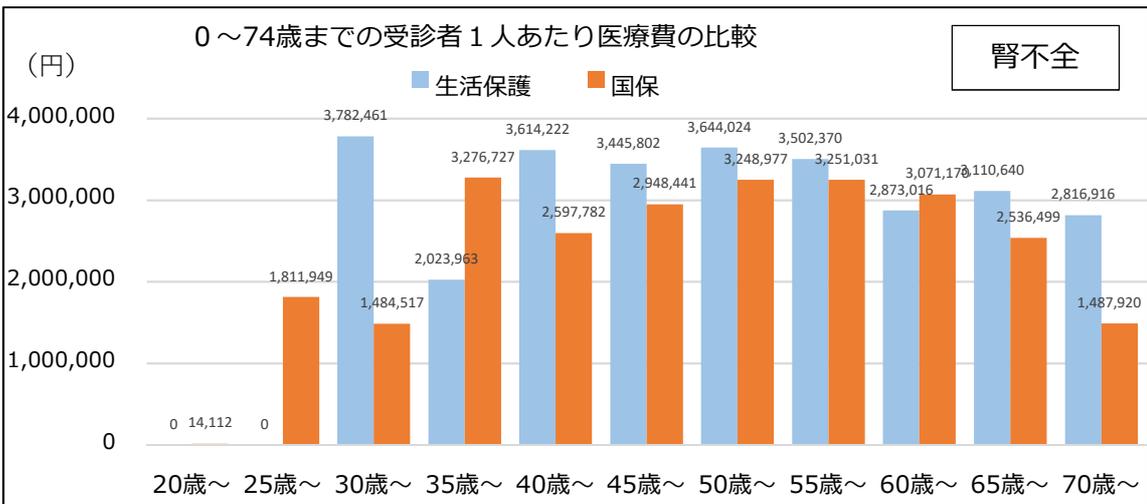
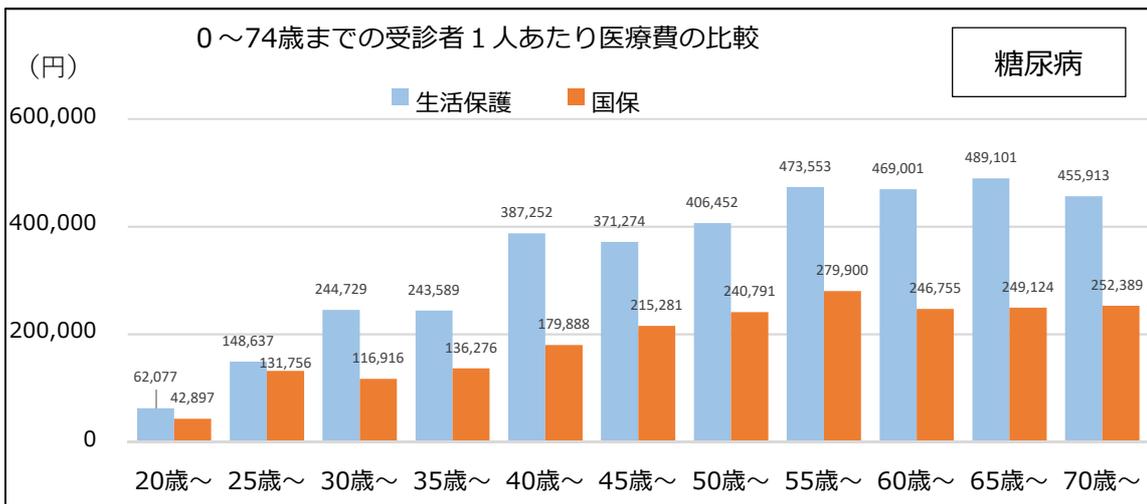
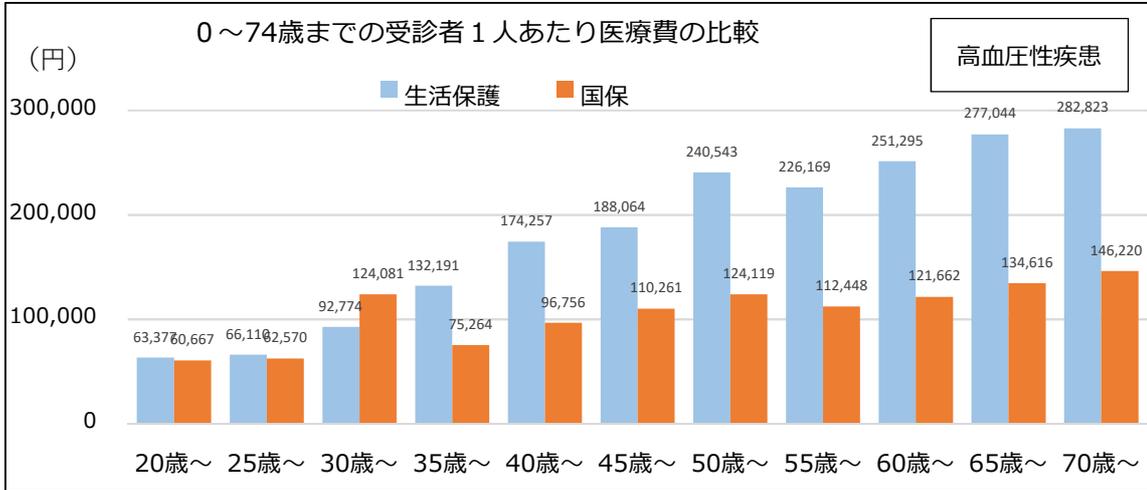
※主病名毎にレセプト全額を集計

集計対象：レセプトデータ (生活保護・自立支援医療)

レセプトデータ (国保)

また生活習慣病上位 3 疾患のみ年代別に棒グラフで 1 人あたり医療費を国保と比較してみると、ほぼ生活保護の方が高かった。

図表 19 主病名が生活習慣病のレセプト 医療費上位 3 疾病 (平成 30 年度)



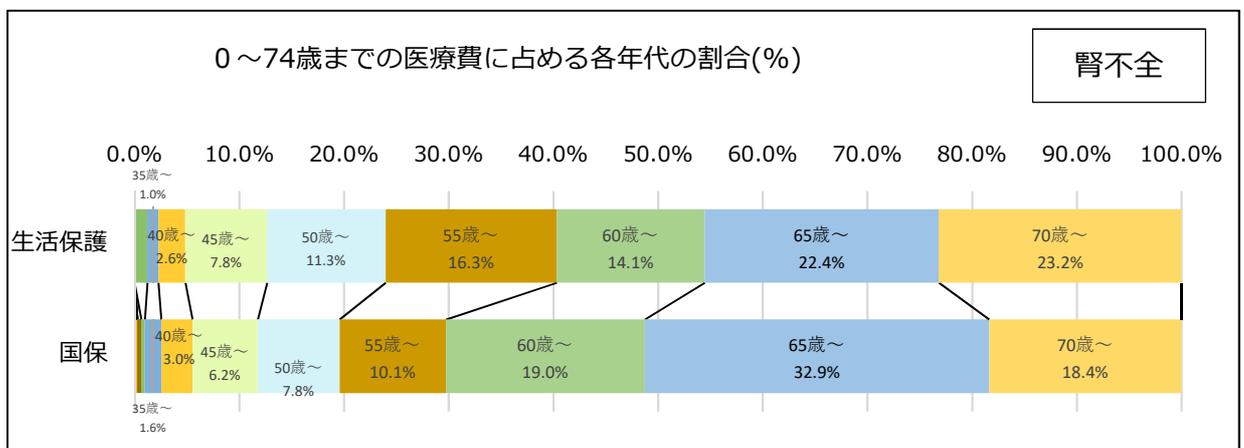
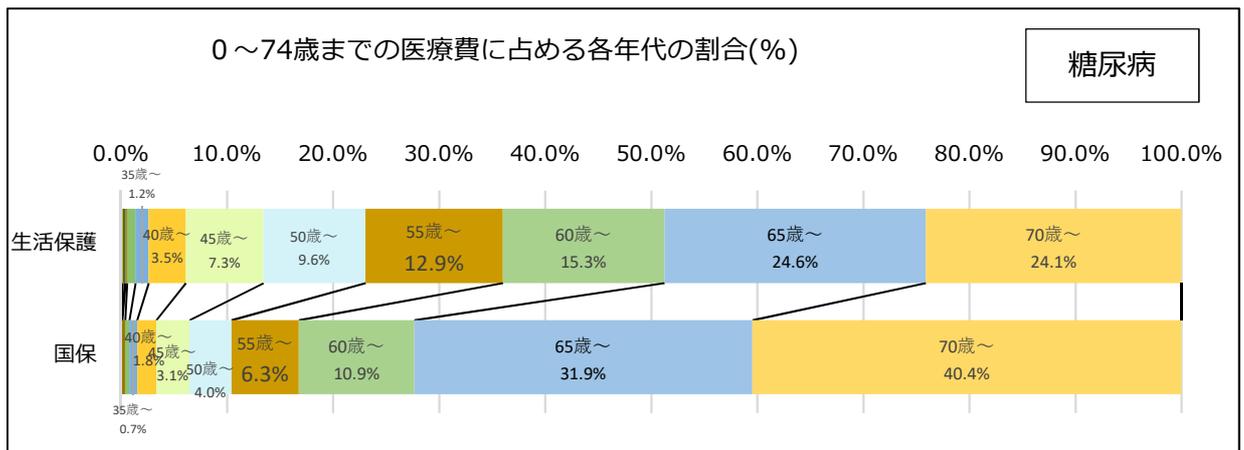
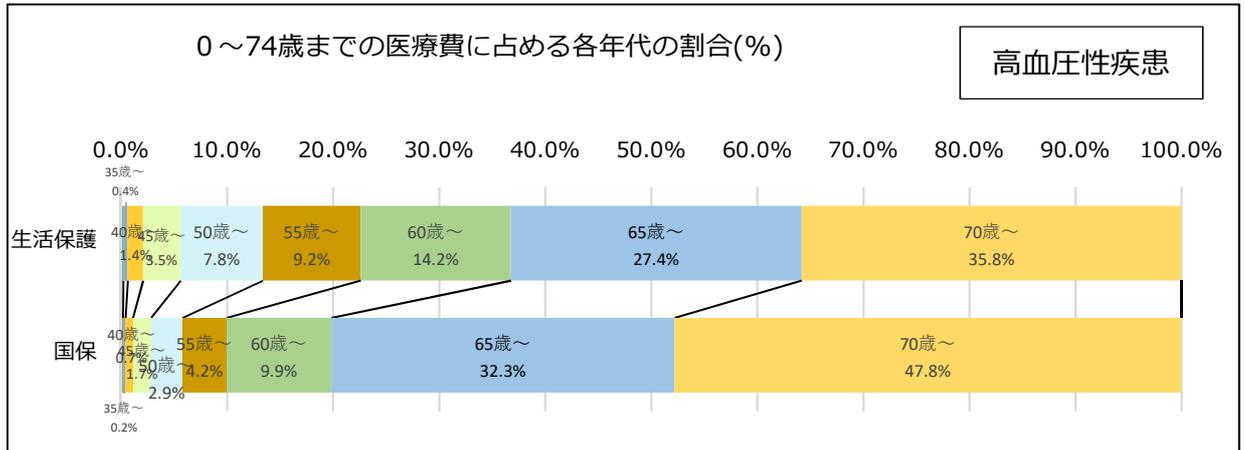
※主病名のレセプトについて、医療費全額を集計しているため、他疾病の医療費も含んでいる。

集計対象：レセプトデータ (生活保護・自立支援)

レセプトデータ(国保)

0～74歳の当該疾病にかかる医療費総額を100%として、各年代の医療費割合をグラフ化した。糖尿病の医療費総額では、60歳未満が36.0%を占め、一方、同年代の国保では16.8%となっており、生活保護では若年期から医療費がかかっている傾向が見られる。他の2疾病についても若年期から同様の傾向が見られる。

図表 20 主病名が生活習慣病のレセプト 医療費上位3疾病（平成30年度）年代別割合



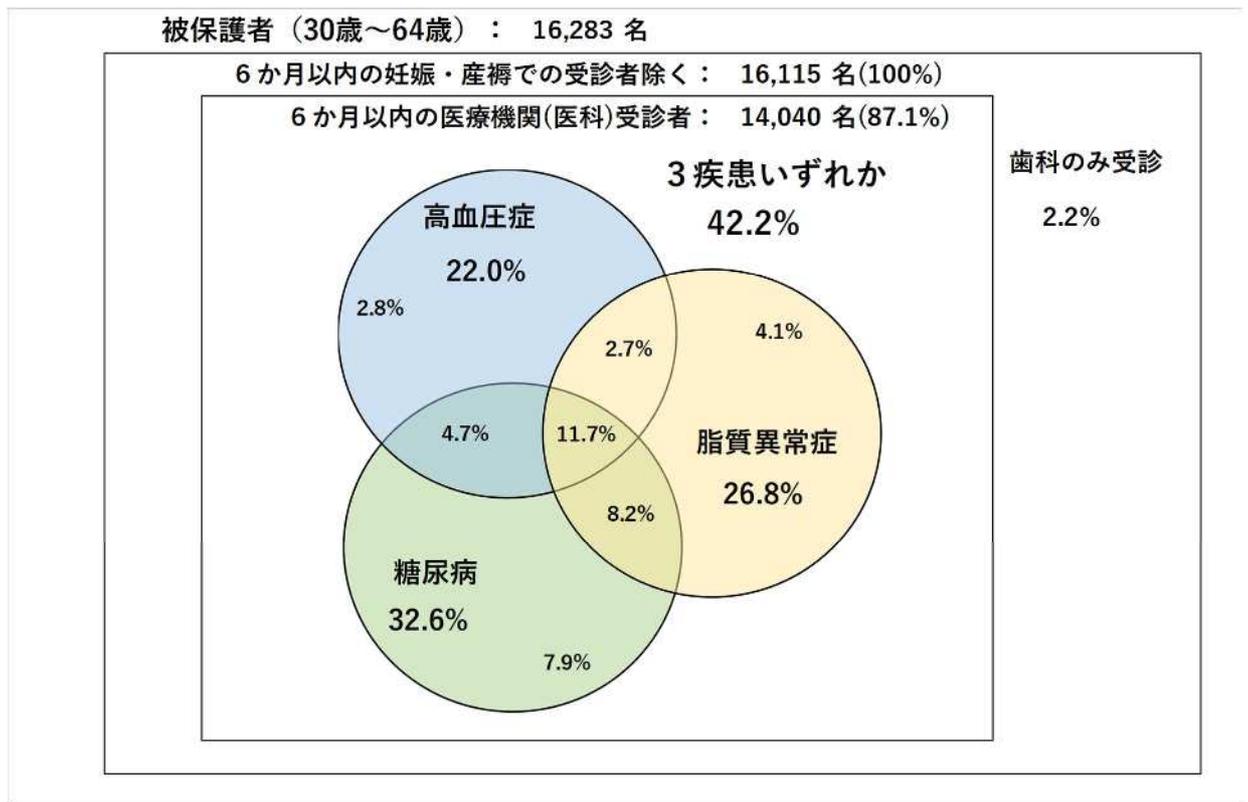
※主病名のレセプトについて、医療費全額を集計しているため、他疾病の医療費も含んでいる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援）

(9) 被保護者の医療機関受診状況

30歳～64歳の被保護者について、医療機関の受診状況を確認したところ、9割近くが医療機関を受診していた。またそのうち、生活習慣病の3疾患（高血圧症・糖尿病・脂質異常症）の受診割合は42.2%であった。

図表 21 被保護者の医療機関受診状況（平成 30 年度）



※1 糖尿病にはI型糖尿病を含む。各疾病は同レセプトにて血液検査が行われている場合のみ集計対象にしている。

※2 直近6か月の医科レセプト

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(10) 糖尿病の重症度別の医療費及び患者数の状況

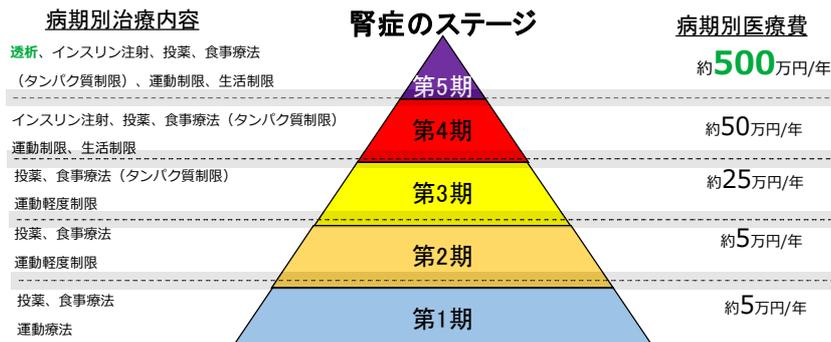
糖尿病治療中の被保護者を、合併症を併発している重症化者とそうでない者で1人あたりの医療費を比較したところ、明らかに重症化者の医療費が高額であった。糖尿病での受診者は10代以降で発生しており、15歳を過ぎると重症化者も若干名みられる。

図表 22 糖尿病における医療費及び受療者数（平成30年度）

年代	糖尿病の医療費(千円)※I型除く			受診者1人当たり(円)※I型除く		
	合計	重症化者	それ以外	合計	重症化者	それ以外
0歳～						
5歳～						
10歳～	2,590		2,590	647,428		647,428
15歳～	2,630	2,464	165	438,305	821,483	55,127
20歳～	542	86	456	90,400	43,170	114,015
25歳～	2,319	1,293	1,026	193,257	431,150	113,959
30歳～	11,394	5,493	5,901	292,152	343,326	256,553
35歳～	17,906	11,032	6,874	271,298	380,399	185,786
40歳～	51,786	40,390	11,396	442,615	621,390	219,147
45歳～	108,999	76,826	32,173	400,732	552,706	241,902
50歳～	142,800	107,084	35,716	440,740	598,234	246,316
55歳～	193,324	151,760	41,563	502,140	668,548	263,060
60歳～	226,889	161,231	65,659	479,681	597,150	323,441
65歳～	368,547	245,528	123,019	504,859	569,670	411,435
70歳～	360,313	249,436	110,876	469,157	569,490	335,989
75歳～	710,345	441,522	268,823	529,713	615,791	430,806
全体	2,200,383	1,494,146	706,237	484,346	593,151	348,931

年代	糖尿病での全受診者(人) ※I型除く			(参考) I型糖尿病での全受診者(人)		
	合計	重症化者	それ以外	合計	重症化者	それ以外
0歳～				1	1	
5歳～				1		1
10歳～	10		10	1		1
15歳～	21	3	18	2	2	
20歳～	31	7	24	2	2	
25歳～	48	6	42	1		1
30歳～	121	18	103	4	2	2
35歳～	185	39	146	7	4	3
40歳～	354	91	263	8	6	2
45歳～	694	180	514	22	7	15
50歳～	865	260	605	22	9	13
55歳～	1,041	321	720	20	11	9
60歳～	1,170	404	766	20	7	13
65歳～	2,051	667	1,384	21	9	12
70歳～	2,312	716	1,596	26	10	16
75歳～	4,761	1,220	3,541	24	10	14
全体	13,664	3,932	9,732	182	80	102

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

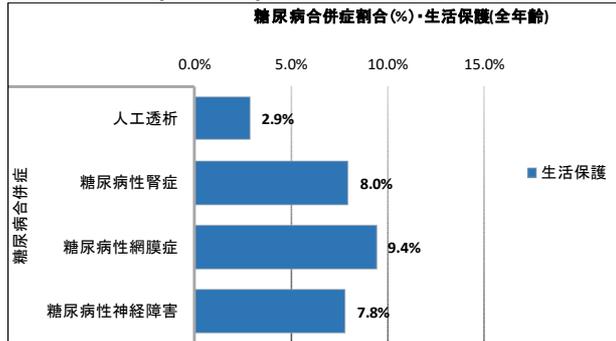


(11) 人工透析・糖尿病合併症の状況

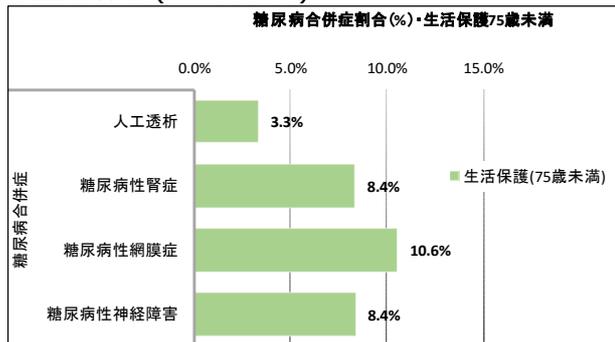
人工透析やその他の糖尿病合併症それぞれのレセプトの割合を国保と比較したところ、合併症出現率は生活保護の方が高かった。75歳未満で絞るとこの傾向はさらに顕著になる。

図表 23 人工透析・糖尿病合併症のレセプト割合（合併症出現率）（平成30年度）

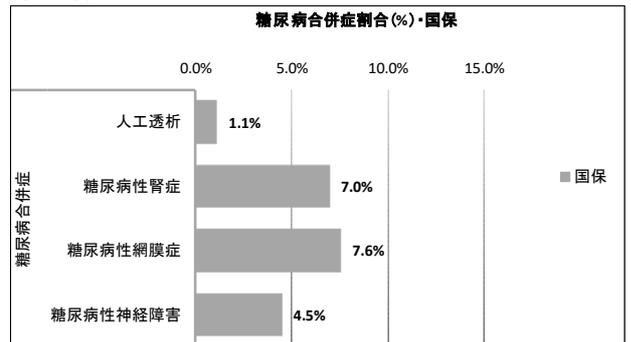
①生活保護(全年齢)



②生活保護(75歳未満)



③国保



① 生活保護(全年齢)

	1ヶ月の医療レセプト件数 (A)	人工透析		人工透析のうち糖尿病割合	糖尿病		糖尿病合併症							
		人工透析			糖尿病		人工透析		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害	
		レセプト件数 (B)	割合 (%) (B/A)		レセプト件数 (B)	割合 (%) (B/A)	レセプト件数 (C)	割合 (%) (C/B)	レセプト件数 (D)	割合 (%) (D/B)	レセプト件数 (E)	割合 (%) (E/B)	レセプト件数 (F)	割合 (%) (F/B)
平成30年6月	58,242	528	0.9%	63.8%	11,744	20.2%	337	2.9%	936	8.0%	1,105	9.4%	918	7.8%

② 生活保護(75歳未満)

	1ヶ月の医療レセプト件数 (A)	人工透析		人工透析のうち糖尿病割合	糖尿病		糖尿病合併症							
		人工透析			糖尿病		人工透析		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害	
		レセプト件数 (B)	割合 (%) (B/A)		レセプト件数 (B)	割合 (%) (B/A)	レセプト件数 (C)	割合 (%) (C/B)	レセプト件数 (D)	割合 (%) (D/B)	レセプト件数 (E)	割合 (%) (E/B)	レセプト件数 (F)	割合 (%) (F/B)
平成30年6月	41,085	403	1.0%	63.5%	7,672	18.7%	256	3.3%	641	8.4%	811	10.6%	643	8.4%

③ 国保

	1ヶ月の医療レセプト件数 (A)	人工透析		人工透析のうち糖尿病割合	糖尿病		糖尿病合併症							
		人工透析			糖尿病		人工透析		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害	
		レセプト件数 (B)	割合 (%) (B/A)		レセプト件数 (B)	割合 (%) (B/A)	レセプト件数 (C)	割合 (%) (C/B)	レセプト件数 (D)	割合 (%) (D/B)	レセプト件数 (E)	割合 (%) (E/B)	レセプト件数 (F)	割合 (%) (F/B)
平成30年6月	253,423	966	0.4%	46.8%	40,215	15.9%	452	1.1%	2,796	7.0%	3,040	7.6%	1,804	4.5%

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

レセプトデータ(国保)

(12) 歯科レセプトと糖尿病の関連状況

歯科レセプトにおける糖尿病罹患者の割合を年代別に確認すると、20歳以降で一定の割合を占めるようになり、50歳以降で約30%、65歳で約40%を占める。なお、糖尿病患者の割合について、う蝕と歯周病で差はみられなかった。

図表 24 歯科レセプトに占める糖尿病患者の割合（平成30年度）

年代	歯科受診者(人)			(再掲)う蝕			(再掲)歯周病		
	歯科	内、 糖尿病	糖尿病患 者の割合	歯科	内、 糖尿病	糖尿病患 者の割合	歯科	内、 糖尿病	糖尿病患 者の割合
0歳～	301		0.0%	238		0.0%	175		0.0%
5歳～	896		0.0%	795		0.0%	629		0.0%
10歳～	774	3	0.4%	588	3	0.5%	620	3	0.5%
15歳～	635	10	1.6%	451	9	2.0%	588	10	1.7%
20歳～	258	19	7.4%	160	12	7.5%	246	19	7.7%
25歳～	395	26	6.6%	264	16	6.1%	382	23	6.0%
30歳～	540	59	10.9%	346	38	11.0%	518	57	11.0%
35歳～	718	104	14.5%	503	65	12.9%	689	99	14.4%
40歳～	1,044	202	19.3%	728	146	20.1%	998	194	19.4%
45歳～	1,422	356	25.0%	911	230	25.2%	1,351	339	25.1%
50歳～	1,467	450	30.7%	939	295	31.4%	1,393	419	30.1%
55歳～	1,429	506	35.4%	875	315	36.0%	1,335	484	36.3%
60歳～	1,483	534	36.0%	850	319	37.5%	1,337	481	36.0%
65歳～	2,202	889	40.4%	1,205	492	40.8%	1,951	791	40.5%
70歳～	2,390	1,006	42.1%	1,213	512	42.2%	2,088	858	41.1%
75歳～	4,966	2,034	41.0%	2,259	941	41.7%	4,012	1,649	41.1%
全体	20,920	6,198	29.6%	12,325	3,393	27.5%	18,312	5,426	29.6%

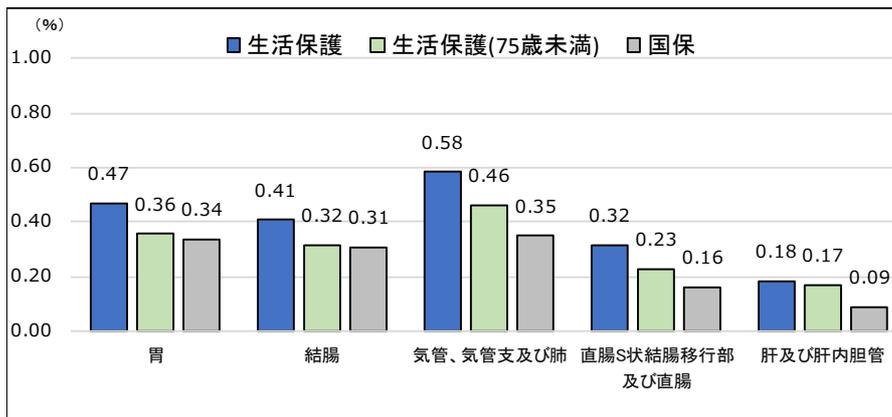
集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(13) 悪性新生物による医療機関受診率

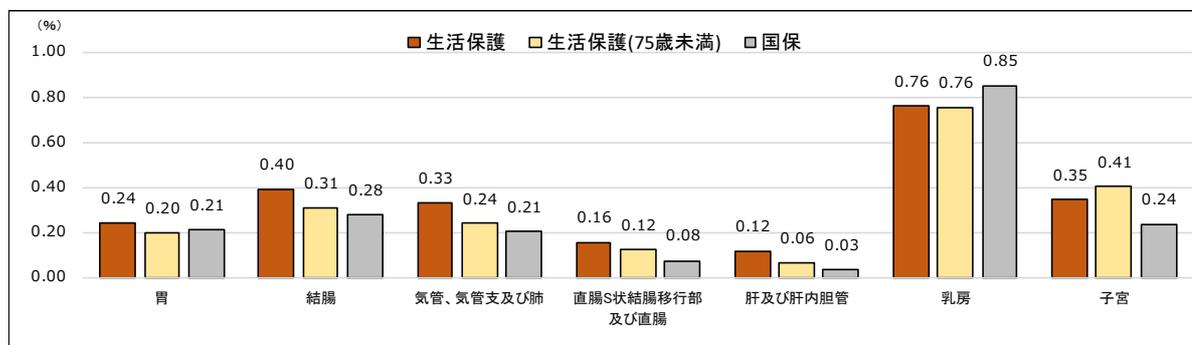
悪性新生物による医療機関受診率を確認すると、男性では下記にあげた悪性新生物のいずれも生活保護の方が国保よりも高かった。女性においては、乳がんの医療機関受診率は国保の方が高いが、結腸がん、子宮がんでは生活保護の方が国保よりも顕著に高かった。

図表 25 悪性新生物の受診率（平成 30 年度）

①男性



②女性



集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

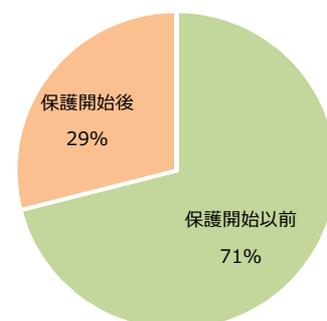
レセプトデータ(国保)

(14) 悪性新生物の治療開始時期

直近5年間の保護開始者について、悪性新生物の治療開始時期を調べたところ、71%が保護開始以前から治療を開始していた。

図表 26 治療開始時期別患者数（直近5年の保護開始者）

治療開始時期	患者数（人）	5年以内の保護開始者 全員に占める割合（%）
生活保護開始以前	1,774	6.0%
生活保護開始後	724	2.4%
合計	2,498	8.4%



図表 27 年代別患者数（直近5年の保護開始者）

治療開始時期	年代									
	0歳～	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳～	90歳～
生活保護開始以前	3	2	14	48	149	318	573	486	161	20
生活保護開始後	2		8	20	47	92	195	229	111	20
合計	5	2	22	68	196	410	768	715	272	40

(15) 糖尿病と癌の関係（平成30年度）

糖尿病に罹患していない者と罹患している者の癌の割合を比較したところ、糖尿病患者の方が結腸、胃、肝及び肝内胆管、膵の癌の罹患率が高かった。

図表 28 糖尿病と癌の関係（平成30年度）

40～59歳

	人数			割合		
	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	全体
結腸	23	38	61	0.8%	0.5%	0.6%
胃	23	23	46	0.8%	0.3%	0.4%
肝および肝内胆管	16	11	27	0.5%	0.1%	0.3%
膵	8	6	14	0.3%	0.1%	0.1%
実診療人数	2,962	7,805	10,767			

60～74歳

	人数			割合		
	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	全体
結腸	158	187	345	2.8%	2.4%	2.6%
胃	169	177	346	3.0%	2.3%	2.6%
肝および肝内胆管	89	77	166	1.6%	1.0%	1.3%
膵	45	19	64	0.8%	0.2%	0.5%
実診療人数	5,545	7,730	13,275			

75歳以上

	人数			割合		
	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	全体
結腸	223	223	446	4.7%	3.3%	3.9%
胃	199	177	376	4.2%	2.6%	3.3%
肝および肝内胆管	98	85	183	2.1%	1.3%	1.6%
膵	37	26	63	0.8%	0.4%	0.5%
実診療人数	4,766	6,774	11,540			

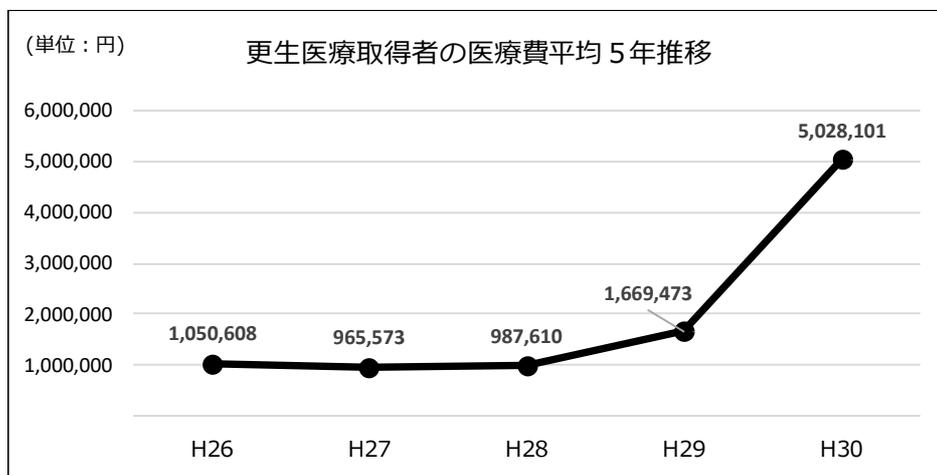
※ I型糖尿病含む

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(16) 更生医療の医療費推移

平成 30 年度に更生医療を取得した者の過去 5 年の平均医療費推移を確認した。5～3 年前は医療費の大きな変化はないものの、更生医療取得の前年から医療費が上昇する傾向にあった。医療費の急増は人工透析によるものと考えられる。

図表 29 更生医療取得者の医療費平均推移（平成 26～30 年度）



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

(17) 入院外の1か月間における受診日数および医療機関数

平成30年6月の入院外レセプトで、被保護者の受診した合計日数および受診人数、1人あたりの受診日数、1人あたり受診医療機関数を確認した。患者1人あたり1～2医療機関を受診している状況であった。

図表30 入院外受診日数と1人あたり1か月の受診医療機関数（平成30年6月）

H30.06				
受診 合計日数	受診人数	1人あたり 受診日数	受診 医療機関数	1人あたり 受診医療機関数
121,312	31,546	3.85	54,349	1.72

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(18) 疾病別受診日数の状況

疾病別の受診日数を入院・入院外で見ると、入院では「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が顕著に多かった。入院外では「高血圧性疾患」「脊椎障害（脊椎症を含む）」が多くなる傾向にあった。

図表31 疾病別受診日数（平成30年度）

順位	入院					入院外				
	疾病	受診日数 (日)	レセプト 件数 (件)	レセプト 金額 (千円)	レセプト1件 あたり金額 (円)	疾病	受診日数	レセプト 件数 (件)	レセプト 金額 (千円)	レセプト1件 あたり金額 (円)
1	0503_統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	131,674	4,775	1,915,265	401,103	0901_高血圧性疾患	146,365	70,710	1,229,685	17,391
2	1901_骨折	32,791	1,835	1,170,840	638,060	1303_脊椎障害（脊椎症を含む）	105,208	25,089	384,737	15,335
3	0906_脳梗塞	27,229	1,268	855,006	674,295	0402_糖尿病	76,524	37,277	1,045,085	28,036
4	0602_アルツハイマー病	22,843	825	346,316	419,777	1302_関節症	62,595	16,963	237,255	13,987
5	0502_精神作用物質使用による精神及び行動の障害	22,006	930	343,850	369,731	1402_腎不全	57,225	6,284	1,511,347	240,507
6	0903_その他の心疾患	20,984	1,345	1,017,920	756,818	0504_気分【感情】障害（躁うつ病を含む）	54,430	33,839	315,487	9,323
7	0501_血管性及び詳細不明の認知症	20,369	757	327,086	432,082	0503_統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	45,008	21,438	352,995	16,466
8	0402_糖尿病	19,399	1,148	518,542	451,692	0403_その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	44,605	21,545	380,125	17,643
9	1011_その他の呼吸器系の疾患	14,923	938	487,902	520,151	1105_胃炎及び十二指腸炎	35,754	13,357	208,306	15,595
10	0504_気分【感情】障害（躁うつ病を含む）	13,843	616	272,651	442,616	0505_神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	35,285	22,100	212,999	9,638
11	1402_腎不全	13,523	866	422,514	487,891	0703_屈折及び調節の障害	32,952	24,922	278,466	11,173
12	0210_その他の悪性新生物	12,876	997	610,632	612,470	0606_その他の神経系の疾患	27,668	13,812	208,472	15,094
13	0905_脳内出血	12,001	528	389,357	737,419	1010_喘息	27,037	14,962	268,625	17,954
14	1112_その他の消化器系の疾患	11,225	1,169	488,804	418,138	1112_その他の消化器系の疾患	25,385	13,559	219,872	16,216
15	1004_肺炎	11,098	790	355,785	450,361	1309_骨の密度及び構造の障害	23,493	6,743	113,077	16,770
16	0507_その他の精神及び行動の障害	10,251	401	173,616	432,956	0704_その他の眼及び付属器の疾患	23,368	17,193	194,835	11,332
17	1310_その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	9,246	527	301,342	571,807	1202_皮膚炎及び湿疹	22,184	15,386	100,986	6,563
18	0606_その他の神経系の疾患	9,216	480	256,794	534,988	1203_その他の皮膚及び皮下組織の疾患	22,151	14,471	162,146	11,205
19	1303_脊椎障害（脊椎症を含む）	9,054	587	393,790	670,851	1905_その他の損傷及びその他の外因の影響	20,298	9,471	189,572	20,016
20	1905_その他の損傷及びその他の外因の影響	8,970	648	321,015	495,393	1304_椎間板障害	19,912	5,079	68,947	13,575

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(19) 複数医療機関の受診状況

被保護者 1 人あたりの受診医療機関数（医科）は平均で 3 か所であった。

図表 32 受診医療機関数（平成 30 年度・医科）

H30		
受診医療機関数	人数	1人あたり 医療機関数
138,675	45,363	3.06

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援）

同一傷病名での複数医療機関の受診について、該当人数が多かったのは「睡眠障害」「詳細不明の糖尿病」「胃炎及び十二指腸炎」であった。

75 歳未満の重複受診者(※)の割合は、重複受診が見られる上位 10 疾病すべてにおいて、国保の 2 倍以上となった。

(※)2 か月連続 3 医療機関以上で同一疾病での受診

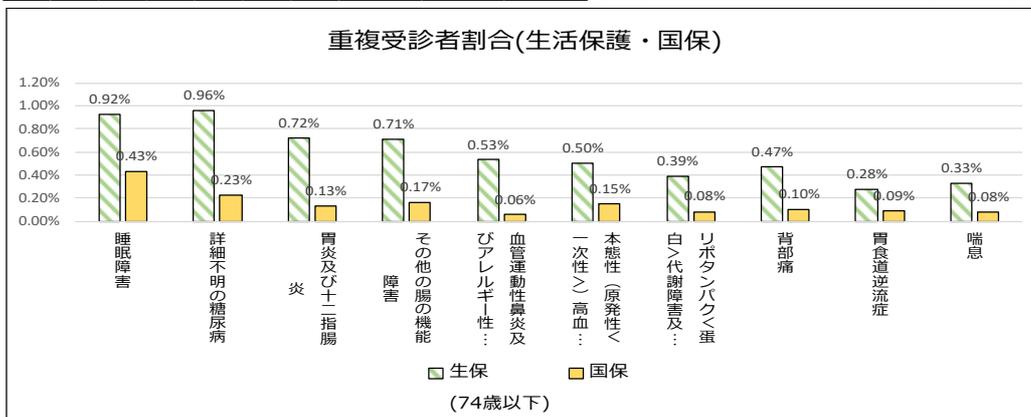
図表 33 重複受診の状況（平成 30 年度）

①全世代

疾病	重複人数 (人)	疾病全体 人数(人)	重複 割合
1 睡眠障害	160	17,961	0.89%
2 詳細不明の糖尿病	158	17,809	0.89%
3 胃炎及び十二指腸炎	114	17,916	0.64%
4 その他の腸の機能障害	106	17,311	0.61%
5 本態性（原発性<一性性>）高血圧（症）	100	20,394	0.49%
6 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>	80	16,643	0.48%
7 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	68	18,584	0.37%
8 背部痛	55	13,853	0.40%
9 胃食道逆流症	47	16,492	0.28%
10 喘息	29	9,959	0.29%

②75 歳未満

疾病	重複人数 (人)	疾病全体 人数(人)	重複 割合
1 睡眠障害	120	12,974	0.92%
2 詳細不明の糖尿病	115	11,993	0.96%
3 胃炎及び十二指腸炎	90	12,522	0.72%
4 その他の腸の機能障害	75	10,631	0.71%
5 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>	69	13,028	0.53%
6 本態性（原発性<一性性>）高血圧（症）	60	11,927	0.50%
7 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	48	12,184	0.39%
8 背部痛	44	9,363	0.47%
9 胃食道逆流症	30	10,700	0.28%
10 喘息	25	7,530	0.33%



集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援）

レセプトデータ(国保)

(20) 重複処方状況

重複処方(※)される医薬品で多いのは、ムコスタ、ロキソニン、マグミットなどの鎮痛剤や制酸剤に加え、マイスリー、ロヒプノールなど睡眠薬があげられる。

75歳未満で、当該医薬品における重複処方の割合を国保と比較すると、ムコスタ、ロキソニンなどは2倍以上と差がついた一方で、ロヒプノール、マイスリー、デパスといった睡眠薬は国保と大きな差はなかった。

(※)同一月に複数の医療機関から同一成分の医薬品をそれぞれ14日以上処方

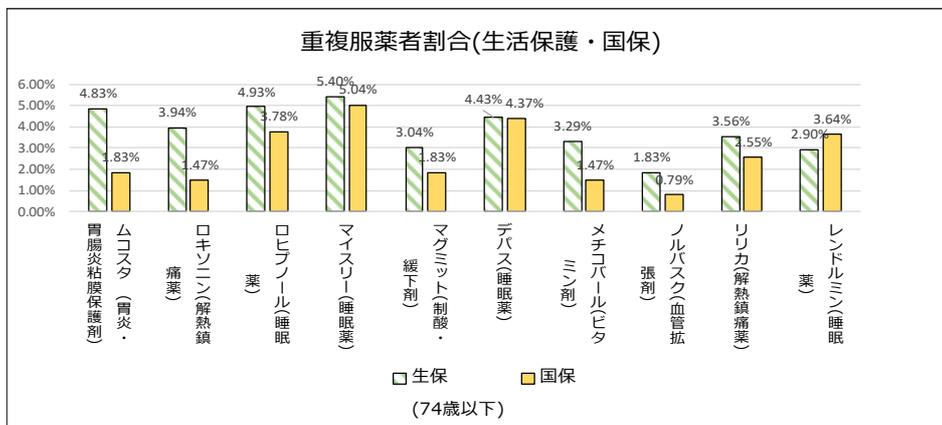
図表 34 重複処方の状況（平成 30 年度）

① 全年代

		重複人数 (人)	処方全体 人数(人)	重複 割合
1	ムコスタ (胃炎・胃腸炎粘膜保護剤)	399	8,264	4.83%
2	ロキソニン(解熱鎮痛薬)	224	5,974	3.75%
3	マグミット(制酸・緩下剤)	213	7,476	2.85%
4	マイスリー(睡眠薬)	187	3,658	5.11%
5	ロヒプノール(睡眠薬)	171	3,526	4.85%
6	ノルバスク(血管拡張剤)	142	8,537	1.66%
7	デパス(睡眠薬)	141	3,143	4.49%
8	メチコパール(ビタミン剤)	130	4,154	3.13%
9	リリカ(解熱鎮痛薬)	114	3,155	3.61%
10	レンドルミン(睡眠薬)	114	3,797	3.00%

② 75歳未満

		重複人数 (人)	処方全体 人数(人)	重複 割合
1	ムコスタ (胃炎・胃腸炎粘膜保護剤)	282	5,843	4.83%
2	ロキソニン(解熱鎮痛薬)	175	4,439	3.94%
3	ロヒプノール(睡眠薬)	159	3,228	4.93%
4	マイスリー(睡眠薬)	148	2,743	5.40%
5	マグミット(制酸・緩下剤)	129	4,240	3.04%
6	デパス(睡眠薬)	105	2,369	4.43%
7	メチコパール(ビタミン剤)	92	2,799	3.29%
8	ノルバスク(血管拡張剤)	87	4,747	1.83%
9	リリカ(解熱鎮痛薬)	79	2,219	3.56%
10	レンドルミン(睡眠薬)	77	2,654	2.90%



集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援）

レセプトデータ(国保)

(21) ジェネリック医薬品の使用状況

ジェネリック医薬品の使用率（数量ベース）の推移をみると、平成 30 年 9 月までは徐々に増加傾向にあったが、生活保護においては原則ジェネリック医薬品使用となったことを契機として、平成 30 年 10 月に急増し、平成 30 年 11 月調剤分で 87.9%となった。

図表 35 ジェネリック医薬品使用率（数量ベース）の推移

	H26	H27	H28	H29	H30
神戸市生活保護 H26は4月、H27以降は11月調剤分	54.98%	67.88%	73.94%	75.54%	87.90%
生活保護：厚生労働省 「医療扶助実態調査（各年6月審査分）」	58.70%	63.80%	69.30%	72.70%	77.60%
医療全体：厚生労働省 「最近の調剤医療費の動向（5月診療分）」	54.50%	58.80%	65.20%	69.00%	74.20%

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

出典：厚生労働省「医療扶助実態調査」「最近の調剤医療費の動向」

(22) 入院レセプトの状況

年間の1件あたりの入院日数は生活保護（75歳未満）で国保より若干長かった。

図表 36 年間入院日数（平成 30 年度）

	生活保護			国保		
	合計入院 日数(日)	レセプト 件数(件)	1件あたり 日数(日)	合計入院 日数(日)	レセプト 件数(件)	1件あたり 日数(日)
75歳未満	339,450	18,958	17.91	1,155,095	75,788	15.24
全体	579,514	32,248	17.97	-	-	-

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

レセプトデータ(国保)

75歳未満の被保護者の疾病別入院日数を国保と比較したところ、いずれも「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が最も長かった。2位以下は国保が「その他の悪性新生物」「骨折」なのに対し、生活保護は「精神作用物質使用による精神等障害」「脳梗塞」であった。

図表 37 疾病別の入院日数

生活保護（75歳未満）				国保			
	入院総日数 (日)	レセプト総件数 (件)	1件あたり (日)		入院総日数 (日)	レセプト総件数 (件)	1件あたり (日)
0503_統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	118,164	4,298	27.5	0503_統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	276,422	9,681	28.6
0502_精神作用物質使用による精神及び行動の障害	20,160	857	23.5	0210_その他の悪性新生物	54,660	4,858	11.3
0906_脳梗塞	11,966	584	20.5	1901_骨折	42,916	3,042	14.1
0504_気分【感情】障害（躁うつ病を含む）	10,866	507	21.4	0606_その他の神経系の疾患	38,190	2,096	18.2
1901_骨折	9,563	631	15.2	0504_気分【感情】障害（躁うつ病を含む）	36,232	1,458	24.9
0507_その他の精神及び行動の障害	9,372	356	26.3	0604_脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	35,793	1,207	29.7
0402_糖尿病	9,167	614	14.9	0906_脳梗塞	30,891	1,705	18.1
0905_脳内出血	7,811	350	22.3	0603_てんかん	29,621	1,218	24.3
0210_その他の悪性新生物	7,168	598	12.0	1112_その他の消化器系の疾患	27,535	3,950	7.0
0903_その他の心疾患	6,279	486	12.9	0904_くも膜下出血	23,377	1,009	23.2
1112_その他の消化器系の疾患	6,245	662	9.4	0903_その他の心疾患	23,127	2,070	11.2
0606_その他の神経系の疾患	6,193	326	19.0	0905_脳内出血	22,920	1,071	21.4
0501_血管性及び詳細不明の認知症	5,336	195	27.4	0402_糖尿病	21,649	1,468	14.7
0602_アルツハイマー病	5,336	190	28.1	0507_その他の精神及び行動の障害	21,610	815	26.5
1009_慢性閉塞性肺疾患	4,914	224	21.9	1905_その他の損傷及びその他の外因の影響	20,342	1,683	12.1
0505_神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	4,463	211	21.2	0205_気管、気管支及び肺の悪性新生物	19,121	1,592	12.0
1905_その他の損傷及びその他の外因の影響	4,339	349	12.4	1302_関節症	18,277	1,279	14.3
1303_脊椎障害（脊椎症を含む）	4,322	321	13.5	0502_精神作用物質使用による精神及び行動の障害	18,122	797	22.7
1011_その他の呼吸器系の疾患	4,055	326	12.4	1011_その他の呼吸器系の疾患	18,006	1,442	12.5
1402_腎不全	3,918	253	15.5	1310_その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	17,207	1,093	15.7

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

レセプトデータ(国保)

生活保護（全年齢）			
	入院総日数 (日)	レセプト総件数 (件)	1件あたり (日)
0503_統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	131,674	4,775	27.6
1901_骨折	32,278	1,809	17.8
0906_脳梗塞	27,202	1,266	21.5
0602_アルツハイマー病	22,843	825	27.7
0502_精神作用物質使用による精神及び行動の障害	21,998	929	23.7
0903_その他の心疾患	20,649	1,312	15.7
0501_血管性及び詳細不明の認知症	20,369	757	26.9
0402_糖尿病	18,341	1,088	16.9
1011_その他の呼吸器系の疾患	14,829	930	15.9
0504_気分【感情】障害（躁うつ病を含む）	13,843	616	22.5
0210_その他の悪性新生物	12,832	994	12.9
0905_脳内出血	11,635	515	22.6
1112_その他の消化器系の疾患	11,132	1,154	9.6
1004_肺炎	10,921	780	14.0
0507_その他の精神及び行動の障害	10,190	399	25.5
0606_その他の神経系の疾患	9,116	474	19.2
1310_その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	9,013	512	17.6
1303_脊椎障害（脊椎症を含む）	9,002	581	15.5
1402_腎不全	8,924	523	17.1
1905_その他の損傷及びその他の外因の影響	8,768	632	13.9

6か月以上の長期入院レセプト(※)を、疾病別に確認すると、12か月間の入院は「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が突出して高かった。次いで、「アルツハイマー病」「精神作用物質使用による精神及び行動の障害」など、精神疾患、神経系疾患で長期入院をしている傾向がみられた。

(※)主たる疾病、もしくは入院の契機となった疾病について集計

図表 38 主病名による6か月以上の入院患者数(疾病別)(平成30年度)

順位	疾病	月数別受診者数(人)						
		12	11	10	9	8	7	6
1	0503_統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	201	41	19	25	19	25	23
2	0602_アルツハイマー病	34	1	5	2	8	9	6
3	0502_精神作用物質使用による精神及び行動の障害	23	4	5	3	1	12	8
4	0501_血管性及び詳細不明の認知症	18	12	0	6	8	9	6
5	0507_その他の精神及び行動の障害	16	2	1	0	2	7	4
6	0504_気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	14	2	2	1	2	4	10
7	0906_脳梗塞	12	3	3	7	4	11	15
8	0402_糖尿病	9	1	4	1	5	4	9
9	1009_慢性閉塞性肺疾患	8	3	2	1	1	1	6
10	0606_その他の神経系の疾患	7	0	1	0	2	1	3
11	0601_パーキンソン病	5	1	1	1	1	1	3
12	0901_高血圧性疾患	5	1	0	1	4	8	8
13	0905_脳内出血	5	0	0	0	1	5	5
14	0903_その他の心疾患	5	0	0	2	6	6	13
15	0506_知的障害<精神遅滞>	5	0	0	0	2	1	2
16	1310_その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	4	3	1	5	0	4	3
17	1905_その他の損傷及びその他の外因の影響	4	1	0	2	1	1	3
18	1203_その他の皮膚及び皮下組織の疾患	4	1	0	2	1	4	1
19	0902_虚血性心疾患	4	1	0	2	0	1	0
20	1902_頭蓋内損傷及び内臓の損傷	3	0	0	1	2	1	0

集計対象：レセプトデータ(生活保護)

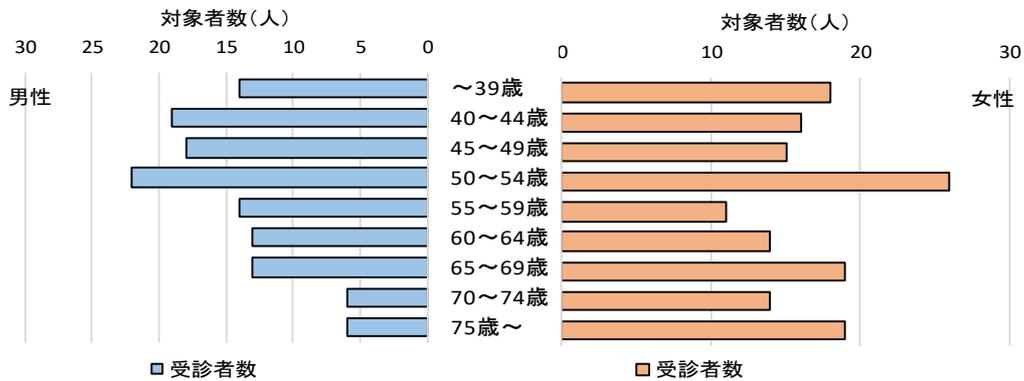
4. 健康診査の状況

(1) 健康診査の受診状況

平成30年度の健診受診者数は277名であった。男女比では女性がやや多く、年代では50～54歳の受診者数が最も多かった。

図表39 健康診査受診状況(平成30年度)

	男		女		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～39歳	14	11%	18	12%	32	12%
40～44歳	19	15%	16	11%	35	13%
45～49歳	18	14%	15	10%	33	12%
50～54歳	22	18%	26	17%	48	17%
55～59歳	14	11%	11	7%	25	9%
60～64歳	13	10%	14	9%	27	10%
65～69歳	13	10%	19	13%	32	12%
70～74歳	6	5%	14	9%	20	7%
75歳～	6	5%	19	13%	25	9%
合計	125	100%	152	100%	277	100%

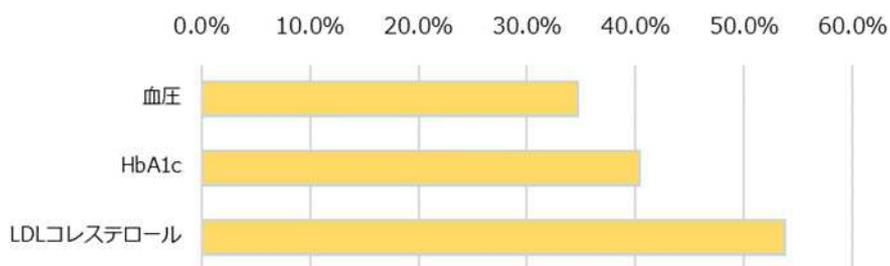


集計対象：神戸市健康診査、健康サポート健診

(2) 有所見者の割合

健診における検査結果から、血圧、血糖（HbA1c）、脂質（LDL コレステロール）の有所見者の割合は、血圧、血糖は 30～40%未満、脂質は 50%超であった。

図表 40 血圧・HbA1c・LDL コレステロールの有所見者割合（平成 30 年度）



集計対象：神戸市健康診査、けんこうサポート健診

(3) 肥満・非肥満におけるリスク保有状況

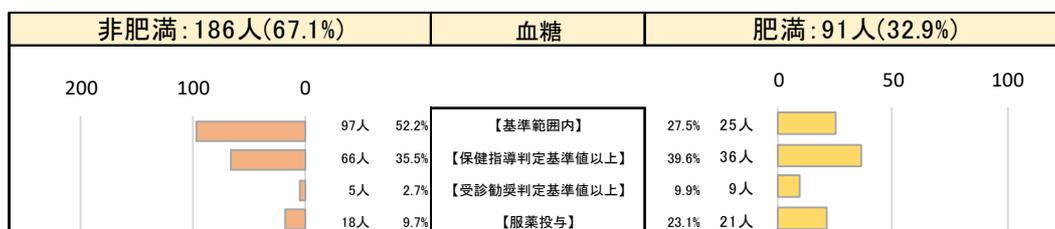
肥満者（腹囲・BMI が基準値を超える者）と非肥満者で、検査結果を保健指導判定基準値、受診勧奨判定基準値で分類したところ、基準範囲内にある者は非肥満者に多かった。基準範囲を超える者は、肥満者に多く存在しているが、脂質においては非肥満者であっても受診勧奨判定値以上の者が 35.5%存在していた。

図表 41 肥満 非肥満のリスク保有状況（平成 30 年度）

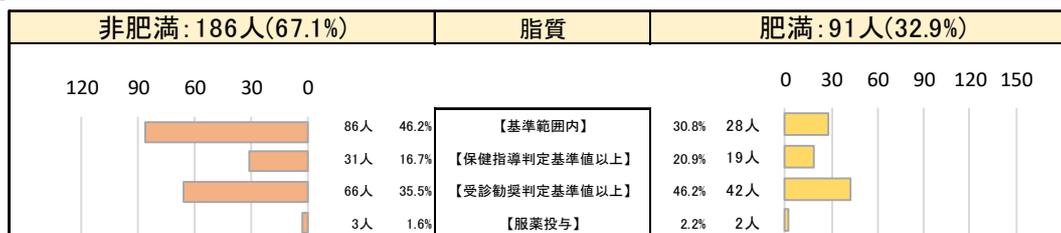
①血圧



②血糖



③脂質



集計対象：神戸市健康診査、けんこうサポート健診

(4) 慢性腎臓病 (CKD) リスク者の状況

健康診査における血清クレアチニン値、性別、年齢から計算される eGFR（推算糸球体ろ過量）と尿蛋白検査結果から慢性腎臓病 (CKD) 重症度分類に従い、リスクの状況を確認した。G3b 以上の eGFR 高度低下者は存在せず、リスクは最大でもオレンジ色部分で、5名であった。また赤色部分の重症度の高い者はいなかった。

図表 42 慢性腎臓病 (CKD) リスク者の状況 (平成 30 年度)

eGFR区分 (mL/分/1.73m ²)	尿蛋白										
	尿蛋白 (-)		尿蛋白 (±)		尿蛋白 (+)		尿蛋白 (2+)		尿蛋白 (3+)		
	人数 (人)	割合 (%)									
G1 正常または高値	≥90	65	25.2%	0	0.0%	2	18.2%	1	33.3%	1	100.0%
G2 正常または軽度低下	60~89	172	66.7%	1	100.0%	8	72.7%	2	66.7%	0	0.0%
G3a 軽度~中等度低下	45~59	21	8.1%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%	0	0.0%
G3b 中等度~高度低下	30~44	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
G4 高度低下	15~29	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
G5 末期腎不全	<15	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

集計対象：神戸市健康診査、健康サポート健診

5. 神戸市生活保護の健康管理支援における現状・課題と対応

	現状・課題	対 応	事業 No.
1	健康意識の低さなどから、健診受診率が低く、健康状態が把握できていない【図表 39】	<ul style="list-style-type: none"> ・全被保護者への健診制度の周知 ・30歳～64歳の重点勧奨対象者へ個別に健診受診勧奨 ・健診結果に基づく早期発見、早期治療 ・継続通院の支援（治療中断者を抽出し、個別に受診勧奨。必要に応じて医療機関受診同行） 	1-1 1-2 1-3 1-4 1-5 1-6 1-7 2-1 2-2
2	国保と比較して、若年者でも生活習慣病の疾病割合が高い【図表 18～20】	<ul style="list-style-type: none"> ・（再掲）30歳～64歳の重点勧奨対象者へ個別に健診受診勧奨 	1-4 1-5
3	適切な治療行動（継続通院・服薬、栄養・運動管理）がとられていないと考えられる【図表 17～21】	<ul style="list-style-type: none"> ・（再掲）継続通院の支援（治療中断者を抽出し、個別に受診勧奨。必要に応じて医療機関受診同行） ・特に糖尿病患者には、医療機関、保健事業担当課、民間事業者、ケースワーカーなど関係機関が連携した保健指導実施 	1-8 3-3
4	重複受診、重複服薬【図表 32～34】	<ul style="list-style-type: none"> ・重複服薬対象者リストによるチェック ・頻回・重複受診者リストによるチェック ・医療機関への連絡、重複服薬者への指導 	重複受診・重複服薬者対策
5	（経済的、身体的、精神的な）複合的な課題を抱えた被保護者が多く、健康管理支援だけでなく総合的な支援が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉事務所、保健事業担当課が連携した支援 ・依存症患者のフォローのための精神保健相談員の配置 	3-1
6	職員（福祉事務所、保健事業担当課）の効率的かつ効果的なアプローチが求められる	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者を活用し、レセプト等データ分析により対象者を抽出し効率的に支援 	3-2

6. 事業の実施計画

(1) 健診受診勧奨

[目的] 健診受診率向上による生活習慣病発症予防、早期発見・早期治療による健康寿命の延伸

[目標] 生活習慣病の患者数の減少

[対象] 全被保護世帯

重点勧奨対象者（次の全てを満たす対象者、約 16,000 人）

- ・ 30～64 歳
- ・ 社会保険、更生医療の適用者以外
- ・ 施設入所者、長期入院者以外

事業 No	事業名	事業内容	実施目標
1-1	全被保護世帯への健診制度の周知	健康診査について、年 1 回以上全世帯に健診案内を送付し、健診制度の周知および受診勧奨	健診受診率 (30～64 歳) 1.13%→7%
1-2	新規保護開始世帯への健診受診勧奨	保護開始決定の通知送付時に健診案内を同封、ケースワーカーからの受診勧奨	
1-3	健康診査とがん検診のセット受診の推奨	健診受付時に同一会場で受診可能ながん検診を同時に受診するよう勧奨	
1-4	重点勧奨対象者への健診受診券送付	分析データ等から対象者を抽出ケースワーカーの確認後、年 1 回時期を定めて健診受診券を郵送	
1-5	重点勧奨対象者への電話等勧奨	(ケースワーカー、健康相談員が) 受診券送付対象者へ電話、面談等で健診受診を促す。	
1-6	保健事業担当課による保健指導	保健事業担当課の定めた重点勧奨値で異常があった者への保健指導	健診結果「要医療」者の受診率 100%
1-7	健診結果「要医療」の者への受診勧奨	保健事業担当課の保健指導後もレセプト情報から把握した医療機関を受診していない者に対し、ケースワーカーや健康相談員と連携しながら保健事業担当課保健師が、訪問または電話にて受診勧奨。支援が必要な場合は、健康相談員等が医療機関受診同行 受診勧奨を行っても、通院につながらない場合は受診阻害理由について再度アセスメントを行い、その理由（健康意識が低い、理解不足、精神的疾患など）に応じて支援	
1-8	保健指導の実施	保健師が健診結果を基にした保健指導を実施。	

(2) 医療機関受診勧奨

[目的] 健康寿命の延伸、自立に向けた健康管理

[目標] 適正受診による重症化予防

[対象] ・健診の結果「要医療」と判定された者

・治療中断者（①②いずれかに該当する者を治療中断者とする。）

①糖尿病の投薬治療を受けており、高脂血症、高血圧の傷病名があるが直近の3か月以上で当該疾病のレセプトが無い。

②糖尿病性腎症・慢性腎臓病（CKD）の病名があるが、直近の3か月以上で当該疾病のレセプトがない。

事業No	事業名	事業内容	実施目標
1-7 再掲	健診結果「要医療」の者への受診勧奨	保健事業担当課の保健指導後もレセプト情報から把握した医療機関を受診していない者に対し、ケースワーカーや健康相談員と連携しながら保健事業担当課保健師が、訪問または電話にて受診勧奨。支援が必要な場合は、健康相談員等が医療機関受診同行 受診勧奨を行っても、通院につながらない場合は受診阻害理由について再度アセスメントを行い、その理由（健康意識が低い、理解不足、精神的疾患など）に応じて支援	要医療者・ 治療中断者の 受診率 100%
2-1	治療中断者等への受診勧奨	リストおよび病状聴取等で把握した情報に基づき、保健事業担当課保健師が受診勧奨を実施、ケースワーカーも電話・面談時に機会を捉え受診勧奨 受診勧奨を行っても、通院につながらない場合は受診阻害理由についてアセスメント（評価）「健康意識が低い、理解不足、精神的疾患など」。理由に応じて、健康相談員、精神保健相談員等と連携した対応	
2-2	継続受診の状況確認	定期的に本人からの聴き取りまたはレセプトで受診の状況を確認しケースワーカー、健康相談員と協力しながら、保健事業担当課保健師が継続受診を支援する。再度、治療中断した場合は改めて受診勧奨。支援が必要な場合は、健康相談員等の医療機関受診同行	要医療者・ 治療中断者の 継続受診 80% 以上

(3) 生活習慣病重症化予防

[目的] 健康寿命の延伸、自立に向けた健康管理支援

[目標] 介入による行動変容 100 件／年

[対象] 生活習慣病重症化予防対象者（以下のいずれかに該当する者）

- ・主に糖尿病性腎症第3期（顕性重症期）および慢性腎臓病（CKD）ステージ3の者
- ・高血圧で主治医より生活習慣改善の指導の指示があった者
- ・健診結果から生活指導や保健指導が必要だと考えられる者
- ・治療コントロール不良者

※糖尿病患者（全体） 約 13,000 人

事業 No	事業名	事業内容	実施目標
3-1	生活習慣病の重症化予防のための指導に関する研修	外部講師により、被保護者と直接関わるケースワーカー、健康相談員、保健師に対して、生活習慣病重症化予防のための生活指導に関する知識の研修実施	年 2 回実施
3-2	生活習慣病重症化予防の対象者の把握	レセプト分析、健診結果の集計、生活習慣病の主治医への病状聴取により、 ①糖尿病性腎症第3期および CKD ステージ3の者 ②健診結果から保健指導が必要だと考えられる者 さらに、病状聴取などで把握した、 ③主治医より指導の指示があった者 ④治療コントロール不良者 について把握し、継続してデータを蓄積し、全体傾向の分析および病状の推移の分析を行い、個別の指導に役立てる	生活習慣病重症化予防対象者の把握および全体傾向の分析

1-7 再掲	健診結果（要医療）の 者への対応	<p>保健事業担当課の保健指導後も医療機関を受診していない者に対し、ケースワーカーと健康相談員が連携して、訪問または電話にて受診勧奨。支援が必要な場合は、健康相談員等が医療機関受診同行</p> <p>受診勧奨を行っても、通院につながらない場合は受診阻害理由についてアセスメント（評価）「健康意識が低い、理解不足、精神的疾患」など。理由に応じて、健康相談員、精神保健相談員等と連携した対応</p>	健診結果「要医療」者の受診率 100%
2-2 再掲	継続受診の状況確認	定期的に本人からの聞き取りまたはレセプトで受診の状況を確認し継続受診を支援する。再度、治療中断した場合は改めて受診勧奨。支援が必要な場合は、健康相談員等の医療機関受診同行	要医療者・治療中断者の継続受診 80%以上
3-3	保健指導が必要な者への対応 (糖尿病、高血圧等)	<p>通院中の者へ生活習慣病に関する保健指導(栄養・運動等)をする場合は、福祉事務所が主治医に協議。</p> <p>指導を要すると主治医が認めた者について、主治医、保健事業担当課、ケースワーカー、健康相談員が連携し、保健指導を実施（モデル区では訪問型保健指導の活用を検討）</p>	介入による行動変容 100件/年

(4) その他の取り組み

事業名	事業内容
頻回受診者対策	<p>1. 頻回受診者の定義</p> <p>⑤年 4 回の把握月に 15 日以上受診している者</p> <p>⑥3 か月（把握月+前月+前々月）で 40 日以上受診している者</p> <p>※①②をとともに満たす者を受診状況把握対象者とする</p> <p>※個別に主治医や嘱託医に確認し指導の必要ありとされた者を頻回受診者とする</p> <p>2. 対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通院台帳を整備 ・ 嘱託医、主治医に通院頻度について確認 ・ 必要な頻度を超える通院が行われている者に対し、ケースワーカーが個別に指導 ・ 指導以後の改善状況を確認し、改善していない場合は指導を継続
重複受診・ 重複服薬者対策	<p>レセプト点検で重複診療・重複処方疑いのあるレセプトを抽出。福祉事務所ケースワーカーが受診医療機関への連絡や対象者への指導を実施。指導後、レセプトを確認し、改善状況を把握</p>
長期入院患者 退院支援	<p>病状的に退院可能であるにも関わらず、長期入院になっている患者に対して、退院支援員が対象者の病状聴取及び退院阻害要因を把握、対象者への助言・指導、関係機関との連絡調整など、退院後の生活が安定できるよう積極的な退院支援を行う</p>
医療機関個別協議	<p>生活保護指定医療機関との個別協議</p>
レセプト点検	<p>医療扶助レセプトの資格、内容について点検</p>
COPD 対策 (禁煙指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健指導の機会に、禁煙指導を併せて行う ・ 禁煙ができない者に対し、咳・息切れがあり、痩せなどの体重減少が見られる者に対し、早期に呼吸器内科を受診させるなど支援を行う
PHR の活用	<p>MY CONDITION KOBE（マイコンディション神戸）など PHR（パーソナルヘルスレコード）の活用を勧奨</p>

7. データヘルス計画の推進

(1) 評価方法

計画の最終年度である令和7年度および中間時点にあたる令和4年度に、本計画書に定めた保健事業の実施計画について、事業ごとに結果（アウトカム）、事業実施量（アウトプット）、過程（プロセス）、体制・構造（ストラクチャー）をそれぞれ検証のうえ評価を行う。

(2) 計画の見直し

計画の最終年度である令和7年度の上半期に、レセプト管理システム、生活保護システムなどの情報を活用し、本計画書に定めた保健事業の目的・目標の達成状況の仮評価を行い、次期計画の策定につなげる。

また、計画の期間中においても、目標の達成状況や事業の実施状況の変化などにより、必要に応じて見直しを行う。

(3) 計画の公表・周知

本計画書を神戸市ホームページに掲載して広く周知を図る。また、実施計画を改定した場合も同様とする。あわせて計画の要旨等をまとめた概要版を作成する。

(4) 個人情報の保護

本計画書に定めた医療扶助関連事業の実施にあたり、個人情報保護の観点から下記の規定を遵守する。

- ・ 神戸市個人情報保護条例（平成9年10月条例第40号）
- ・ 神戸市個人情報保護条例施行規則（平成10年3月19日規則第80号）
- ・ 神戸市情報セキュリティ基本方針
（平成15年1月27日制定 平成26年3月24日改定）
- ・ 神戸市情報セキュリティ対策基準
（平成15年1月27日制定 平成29年3月14日改定）
- ・ 電子計算機処理に係るデータ保護管理規程（平成17年5月31日訓令甲第2号）

神戸市生活保護医療扶助関連事業実施計画（データヘルス計画）

（令和２年度～令和７年度）

作成：神戸市保健福祉局生活福祉部保護課医療係

〒650-8570

神戸市中央区加納町6-5-1

電話：078-331-8181